

ラスコート・ゲート1型

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

梱包明細表

■前・後桁セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
前・後桁 W22	1					
前・後桁 W24		1				
前・後桁 W26			1			
前・後桁 W28				1		
前・後桁 W30					1	
前・後桁 W32						1
豎樋 A (ℓ=2200)	1	1	1	1	1	1
前桁ビート材	4	5	5	6	6	7

■屋根材セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
屋根材 (W22)	4					
屋根材 (W24)		5				
屋根材 (W26)			5			
屋根材 (W28)				6		
屋根材 (W30)					6	
屋根材 (W32)						7

■前面パネルセット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
H 鋼 仕 様	前面パネル W22	1				
	前面パネル W24		1			
	前面パネル W26			1		
	前面パネル W28				1	
	前面パネル W30					1
	前面パネル W32					
タ イ ル 仕 様	前面パネル W22	1				
	前面パネル W24		1			
	前面パネル W26			1		
	前面パネル W28				1	
	前面パネル W30					1
	前面パネル W32					

■格子セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
格子 W22	1					
格子 W24		1				
格子 W26			1			

■格子セット(つづき)

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
格子 W28				1		
格子 W30					1	
格子 W32						1

■側桁・垂木セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
側桁 (R)	1	1	1	1	1	1
側桁 (L)	1	1	1	1	1	1
側桁カバー	2	2	2	2	2	2
中間垂木	3	4	4	5	5	6
端部垂木 (R)	1	1	1	1	1	1
端部垂木 (L)	1	1	1	1	1	1
中間垂木カバー	3	4	4	5	5	6
端部垂木カバー	2	2	2	2	2	2

■部品セット

名 称	員数	
前・側桁コーナージョイント (R)	1	
前・側桁コーナージョイント (L)	1	
後・側桁コーナージョイント (R)	1	
後・側桁コーナージョイント (L)	1	
屋根ステー金具	4	
コーナージョイント取付ネジ φ4×8トラス 3種	46	
前面パネル取付ネジ φ4×8トラス 3種	9	
壁・屋根組付ボルト M8×20六角ボルト	12	
壁・屋根組付平座金 M8用平座金	12	
壁・屋根組付バネ座金 M8用バネ座金	12	
垂木取付ネジ φ4×8トラス 3種	32	
端部垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ・タッピン 2種	8	
端部垂木取付ネジ φ4×30トラス 3種	4	
雨 樋 セ ット	コーナージョイントキャップ	1
	豎樋 B ℓ=100	2
	アタッチメント	1
	エルボ	2
	サドルA	2
	サドルB	2
	サドル取付ネジ φ3.5×30ナベ, φ4×19テクスネジ	各2
	接着剤 (塩ビ)	1
	コーキング剤 (ブチル)	1
	シール剤	2
取付説明書	1	
取扱説明書	1	
ラスコート商品の仕上げ施工の注意とお願い	1	

※施工前に必ず別紙の「ラスコート商品の仕上げ施工の注意とお願い」をお読みください。

■門袖パネルセット

名 称	員 数								
	H19 標 準	H19 機能付右	H19 機能付左	H17 標 準	H17 機能付右	H17 機能付左	H14 標 準	H14 機能付右	H14 機能付左
門袖パネル H19標準	1								
門袖パネル H19機能付(右)		1							
門袖パネル H19機能付(左)			1						
門袖パネル H17標準				1					
門袖パネル H17機能付(右)					1				
門袖パネル H17機能付						1			
門袖パネル H14標準							1		
門袖パネル H14機能付(右)								1	
門袖パネル H14機能付(左)									1
側壁・門袖ジョイントプレート H19	1	1	1						
側壁・門袖ジョイントプレート H17				1	1	1			
巾木2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
巾木3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
巾木4	1	1	1	1	1	1	1	1	1
側壁・門袖ジョイントプレート H14							1	1	1
ベースプレート(右)		1			1			1	
ベースプレート(左)	1		1	1		1	1		1
ベース組付・レベル調整ボルト M10×50六角ボルト	6	6	6	6	6	6	6	6	6
ベースプレート組付平座金 M10用	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ベースプレート組付バネ座金 M10用	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ジョイントプレート取付ネジ φ4×25テクスネジ	10	10	10	10	10	10	12	12	12
巾木組付ネジ φ4×19テクスネジ	16	16	16	16	16	16	16	16	16

■側壁パネルセット

名 称	員数
側壁パネル(左右共通)	各1
ベースプレート(右)	1
ベースプレート(左)	1
巾木1	2
巾木4	2
ベースプレート固定金具	1

■側壁パネルセット(つづき)

名 称	員数
ベースプレート固定金具組付ネジ M4×8ナベ小ネジ	2
ベースプレート固定、調整ボルト M10×50六角ボルト	6
ベースプレート固定座金1 M10平座金	2
ベースプレート固定座金1 M10バネ座金	2
ホールインアンカー M10	4
巾木組付ネジテクスネジ φ4×19	20

■門袖用笠木セット

名 称	員数
門袖用笠木	1
笠木端部キャップ	1
門袖専用・笠木端部キャップ	1
笠木取付ネジ M4×16サラネジ	4
笠木端部キャップ取付ネジ φ4×10サラネジ	4

注) 門袖の天端はラスモルタル仕上げを施してありますので、
タイル張りの場合は門袖用「笠木セット」は不要です。

■側壁用笠木セット

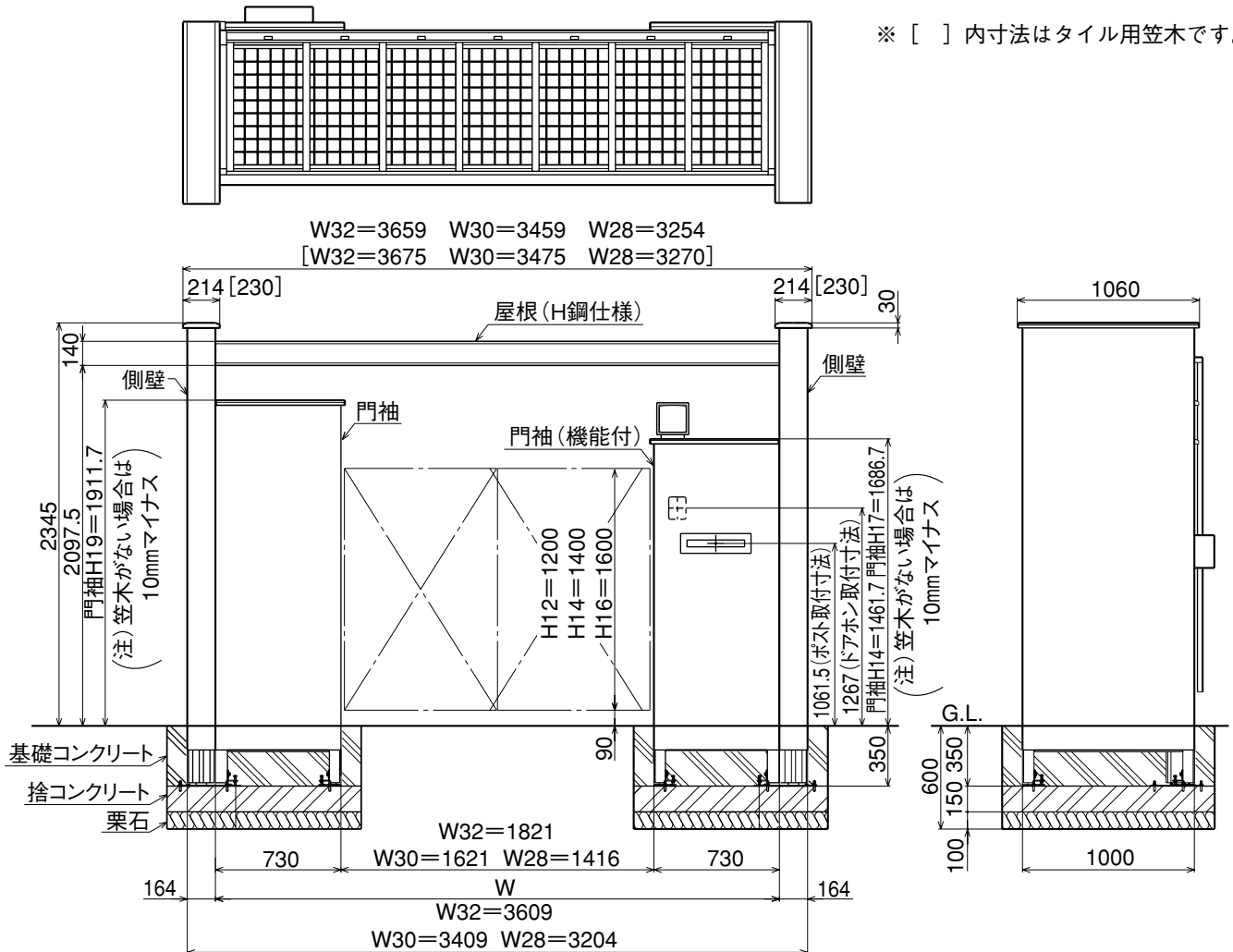
名 称	員数
側壁笠木	2
笠木端部キャップ	4
笠木取付ネジ テクスネジ φ4×19	12
笠木取付座金 M4用シーリングワッシャー	12
笠木端部キャップ取付ネジ φ4×10ナベ小ネジ	8
笠木端部キャップ取付座金 M4用シーリングワッシャー	8

注) 側壁用笠木セットは「W214」と「W230」よりの選択部材です。

1. 基本寸法および各部名称

1-1 Aタイプ

※ [] 内寸法はタイル用笠木です。

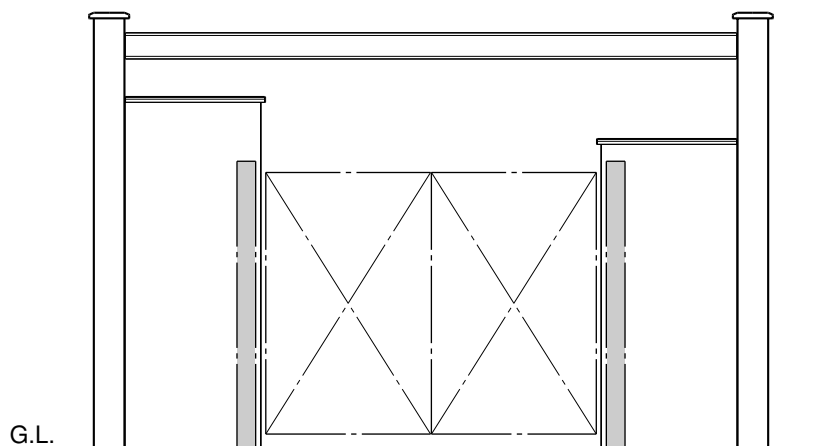


<門柱機能付>

●H19の照明は門柱前面部取付けとなります。

名称	門扉	W(間口寸法)
W28	07	2876
W30	08	3081
W32	09	3281

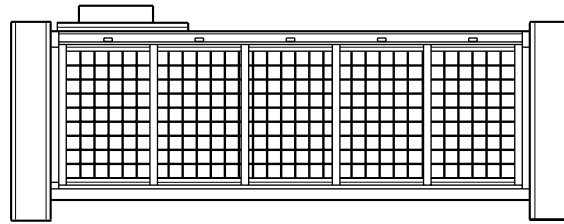
●門扉の取付けは門柱を使用して行ってください。



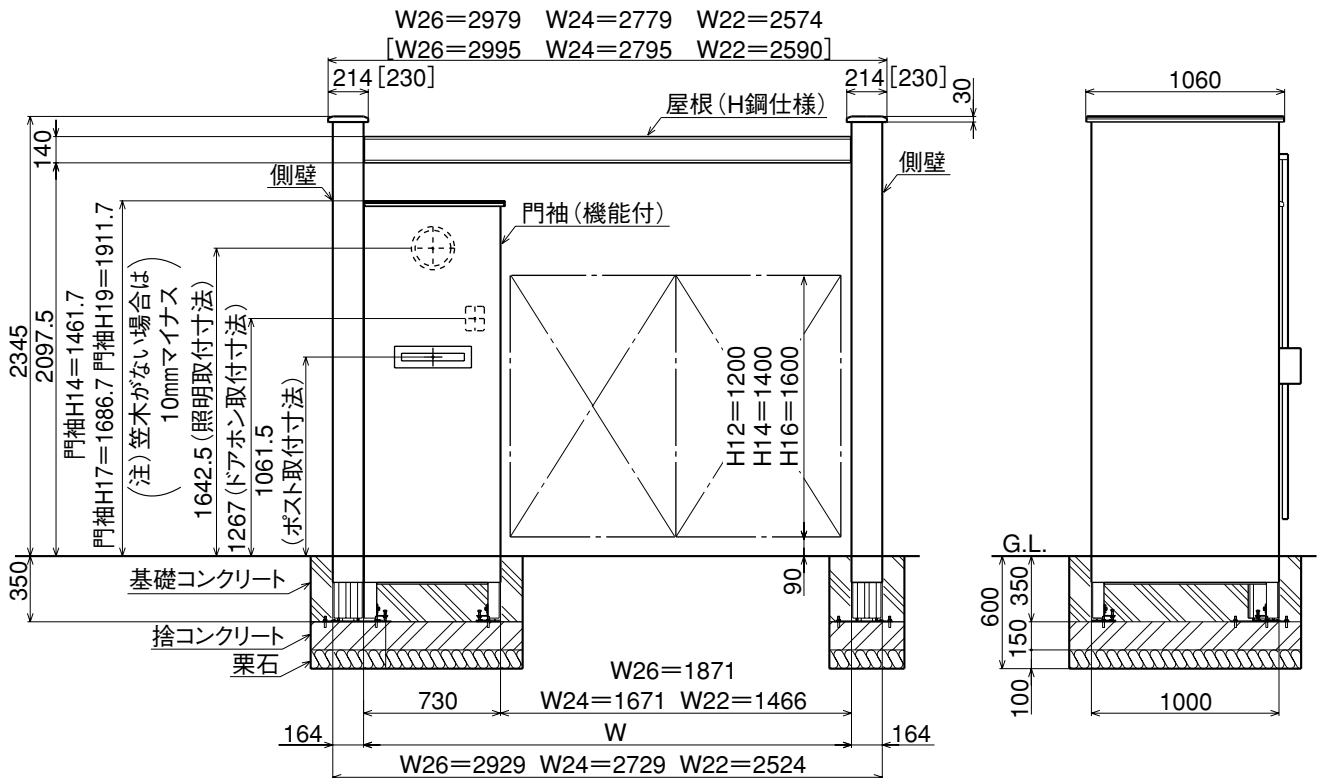
門扉呼称	適応門扉
H19	H:16,14,12用
H17	H:16,14,12用
H14	H:12用

1. つづき

1-2 Bタイプ



※ [] 内寸法はタイル用笠木です。

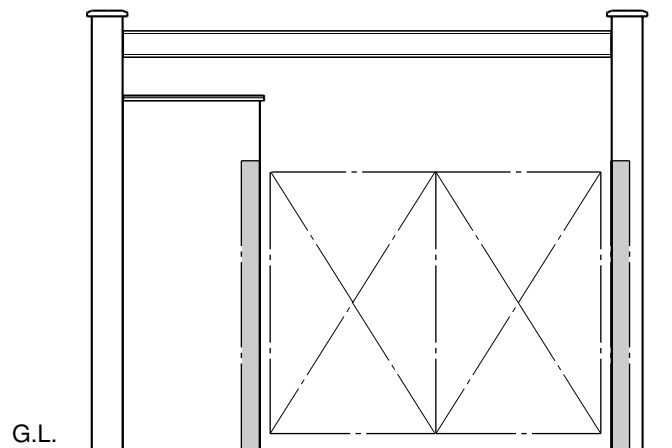


<門袖機能付>

●H14,H17の照明は
上部取付けとなります。

名称	門扉	W(間口寸法)
W22	07	2196
W24	08	2401
W26	09	2601

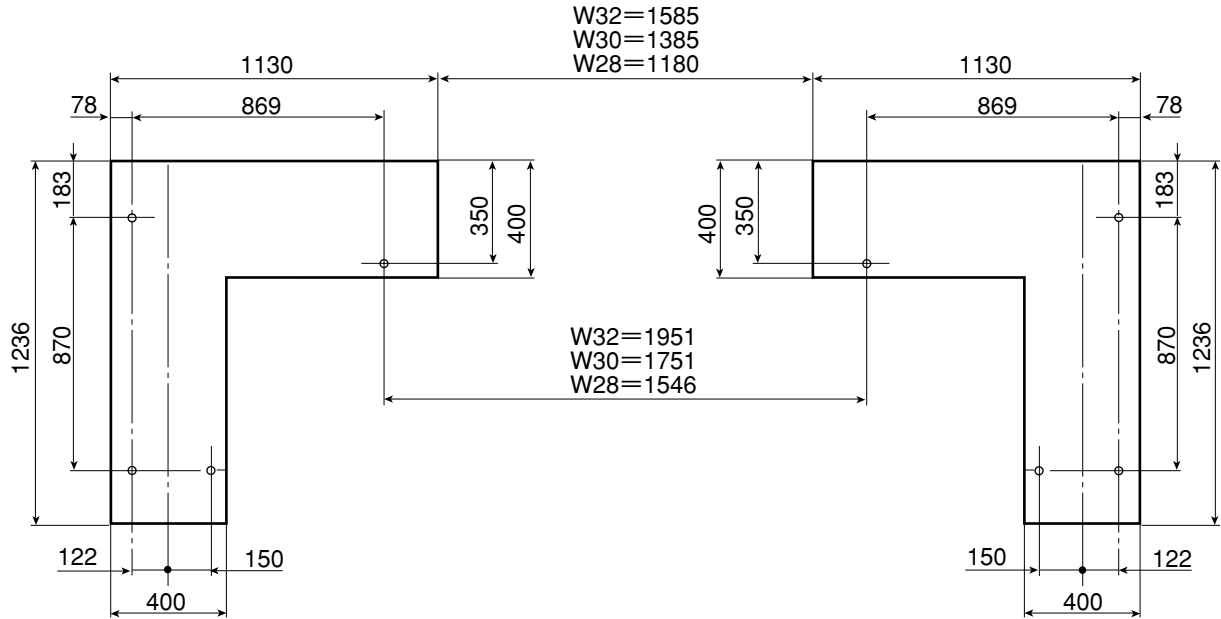
●門扉の取付けは門柱を使用して行ってください。



門扉呼称	適応門扉
H19	H: 16,14,12用
H17	H: 16,14,12用
H14	H: 12用

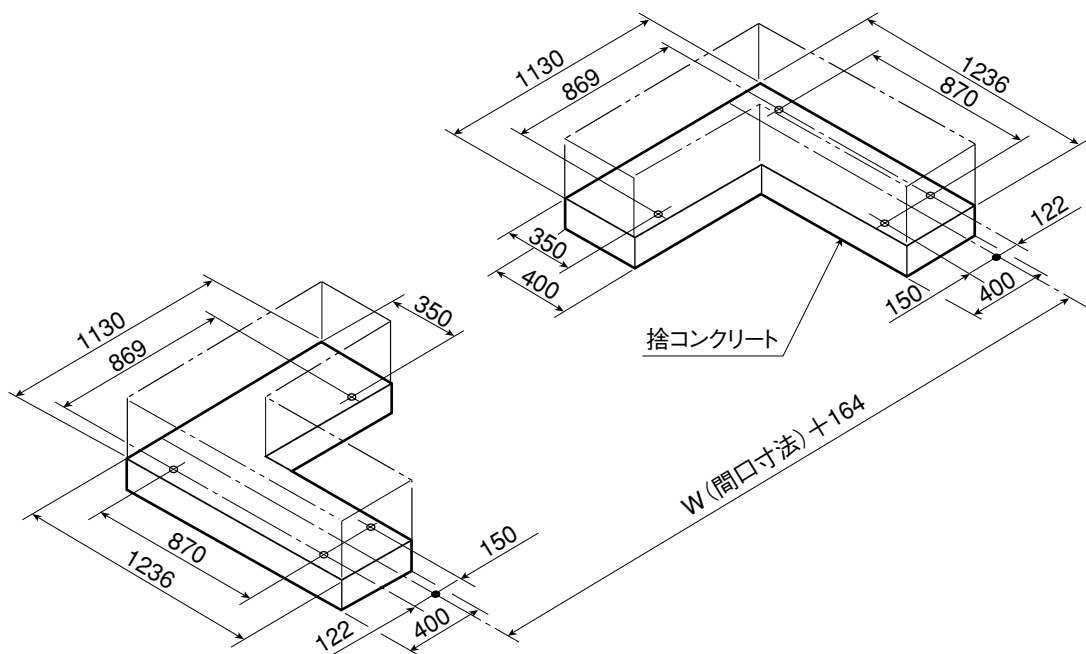
2. 基礎の施工

2-1 Aタイプ



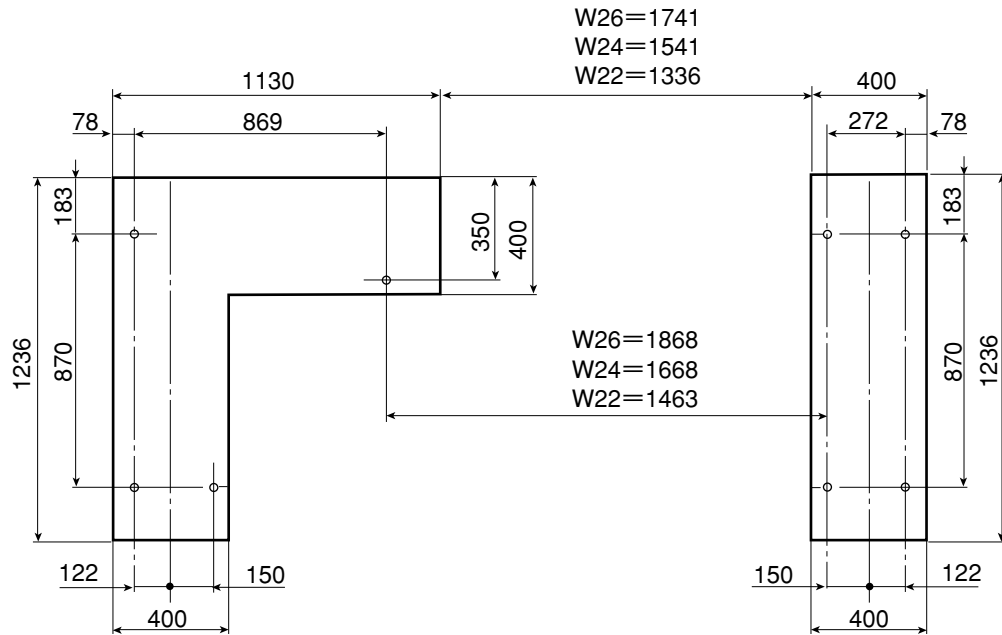
- ①基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工してください。
- ②墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ(φ10.5)を行ってください。
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行ってください。)
- ③ホールインアンカーを打ち込んでください。

名 称	門 扉	W(間口寸法)
W28	07	2876
W30	08	3081
W32	09	3281



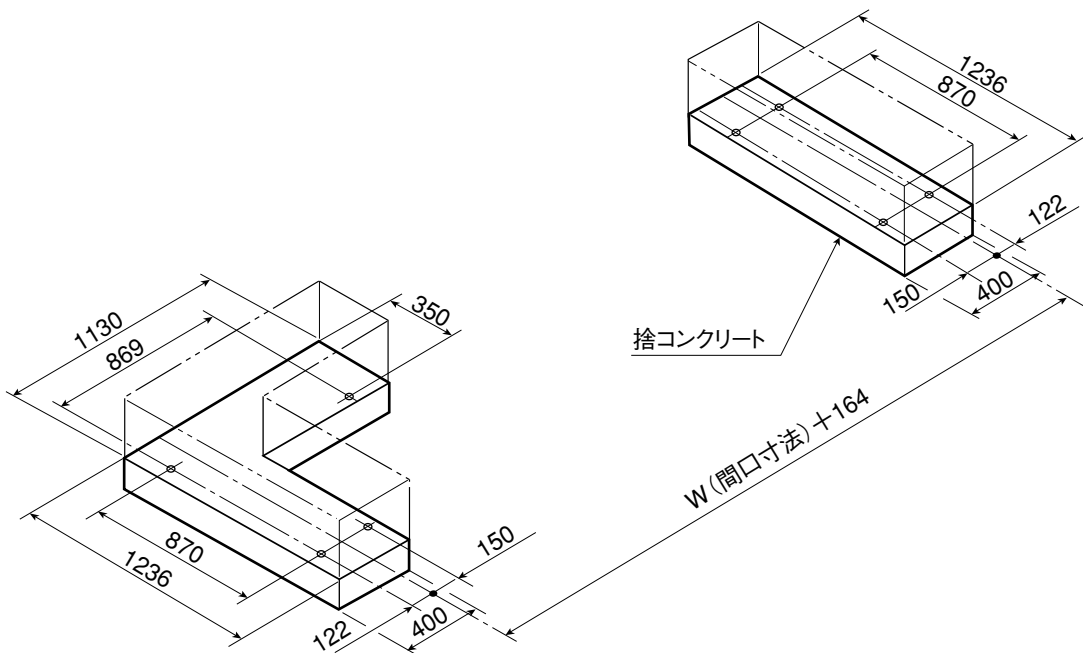
2. つづき

2-2 Bタイプ



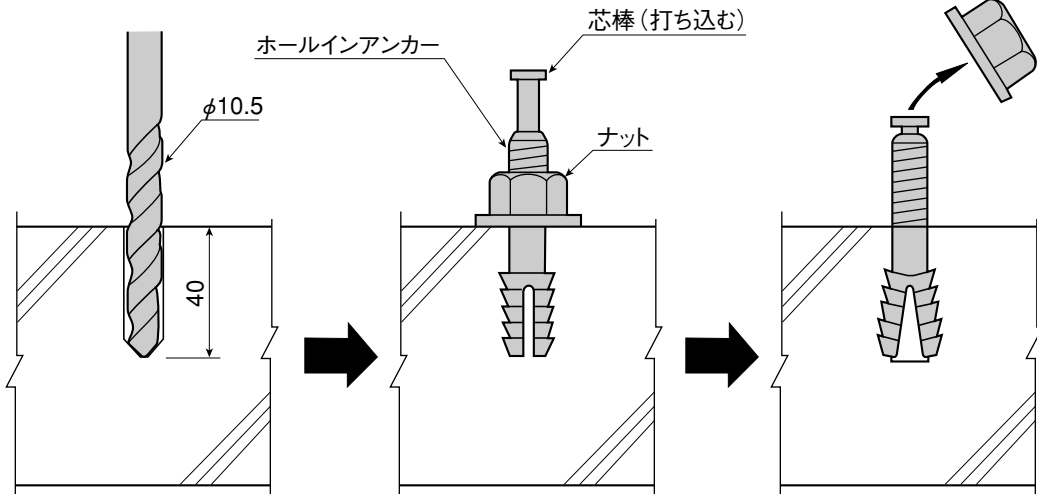
- ①基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工してください。
- ②墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ(φ10.5)を行ってください。
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行ってください。)
- ③ホールインアンカーを打ち込んでください。

名称	門扉	W(間口寸法)
W22	07	2196
W24	08	2401
W26	09	2601

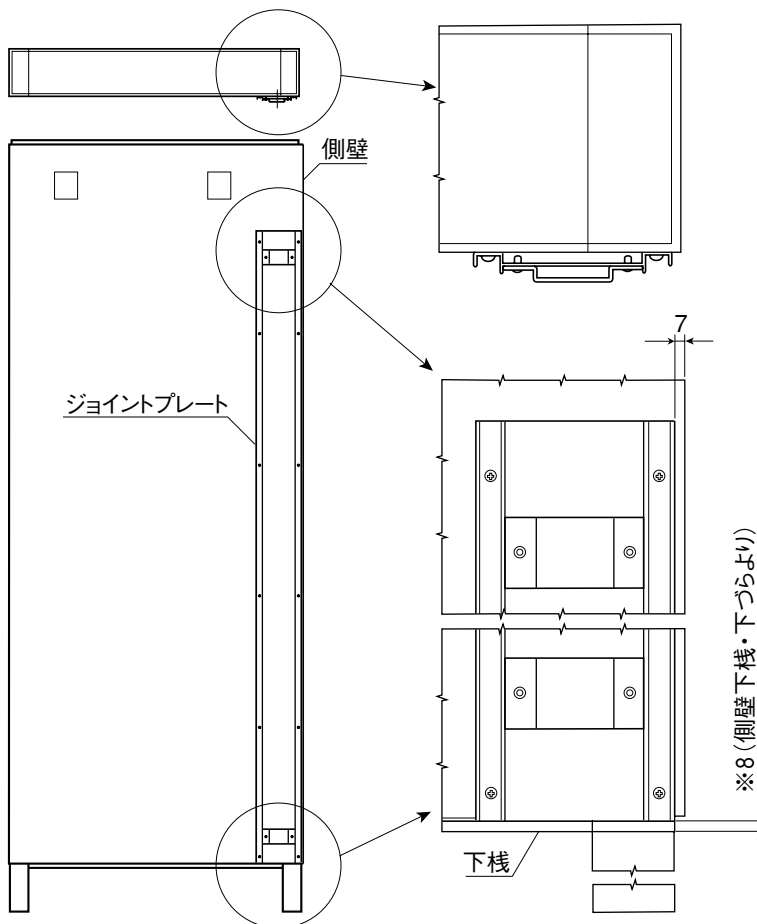


3. ホールインアンカーの施工

- ①直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ40mmの下穴をあけてください。
- ②ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んでください。
- ③穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。
- ④ナットを一担、取りはずしてください。



4. ジョイントプレートの納まり



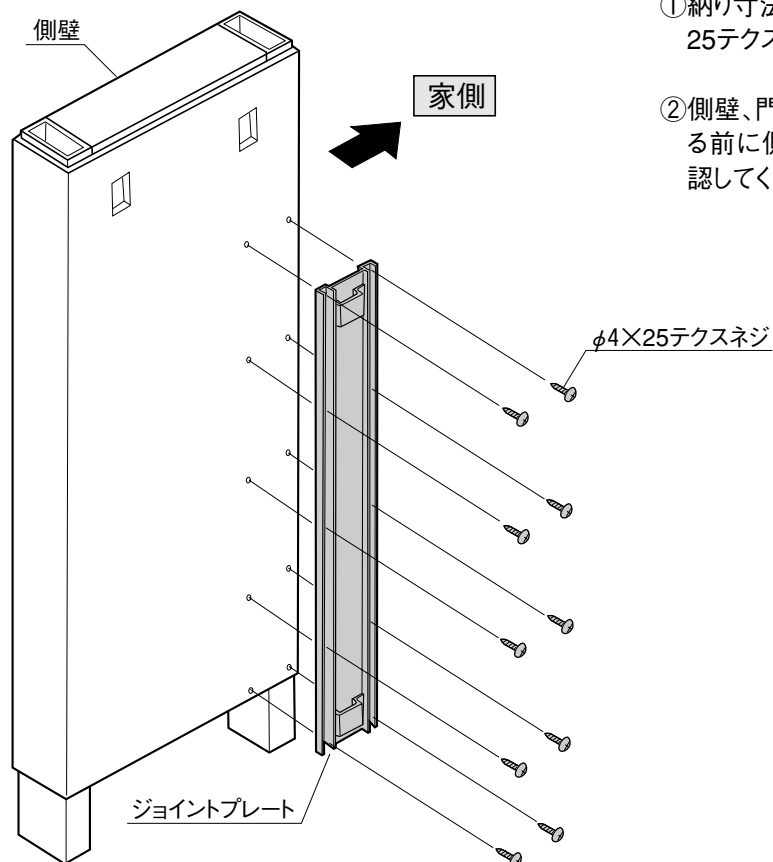
注意

形材の内側からネジの頭が出ておきますので運搬の際、指をケガするおそれがありますのでご注意ください。

- ①側壁下棧・下づらより、※8mmの位置から下棧にフィンが出ていますので、その部分に合わせてください。

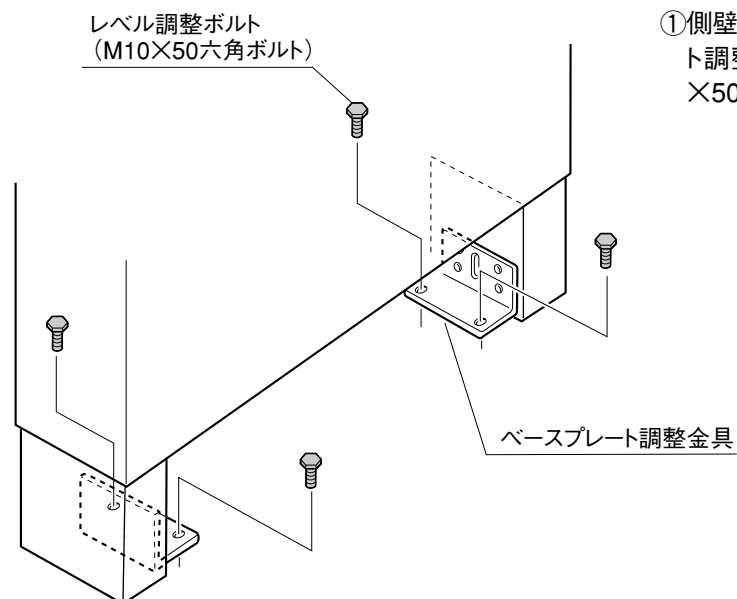
※左図はH19門袖用ジョイントプレートを取付けた納まり図です。

5. ジョイントプレートの取付け



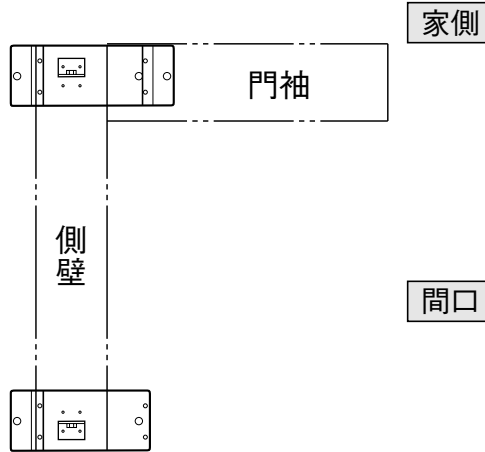
- ①納り寸法に従ってジョイントプレートをφ4×25テクスネジで側壁に取付けてください。
- ②側壁、門袖をホールインアンカーに固定する前に側壁に門袖をつき当てて納りを確認してください。

6. レベル調整ボルトの取付け

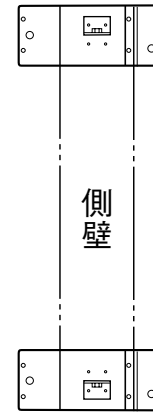


- ①側壁、門袖に組み付いている、ベースプレート調整金具にレベル調整用ボルト (M10×50六角ボルト) を取付けてください。

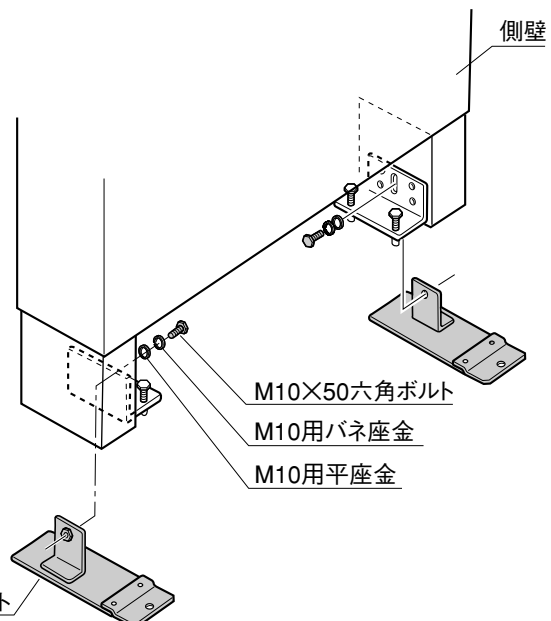
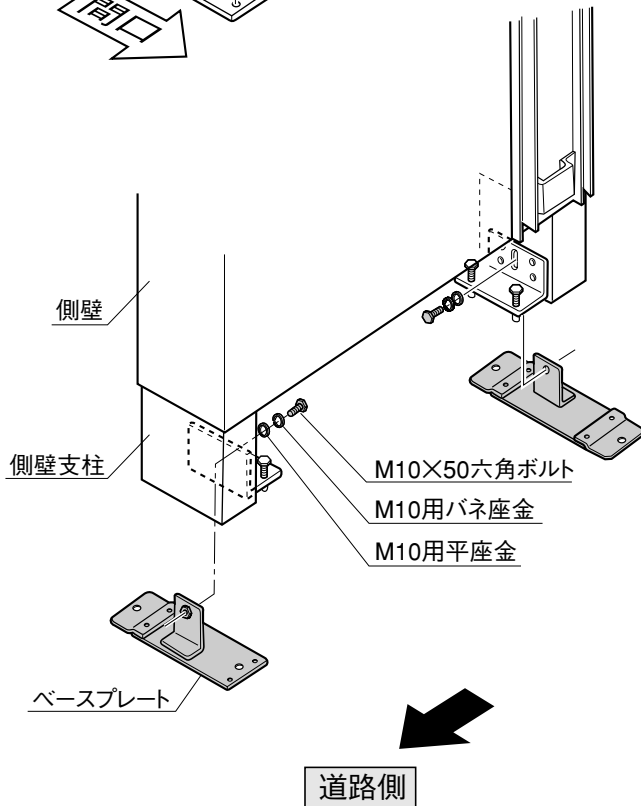
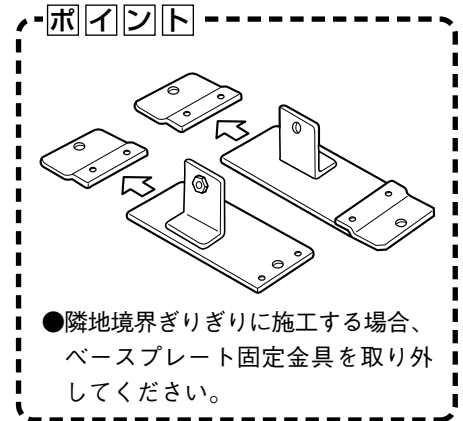
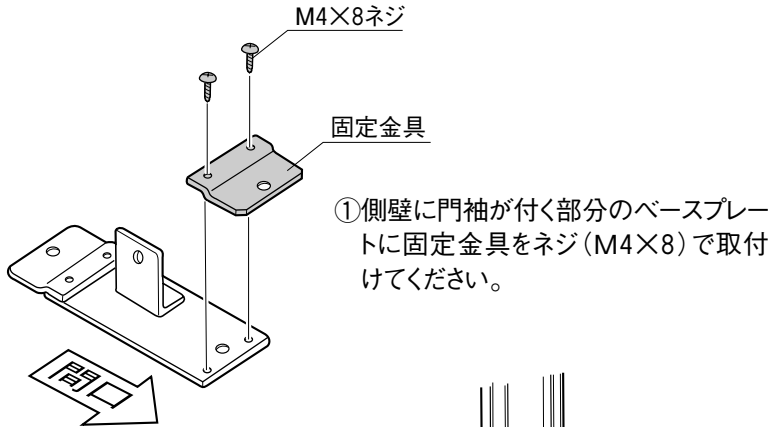
7. 側壁ベースプレートの取付け



●側壁に門袖が付く場合

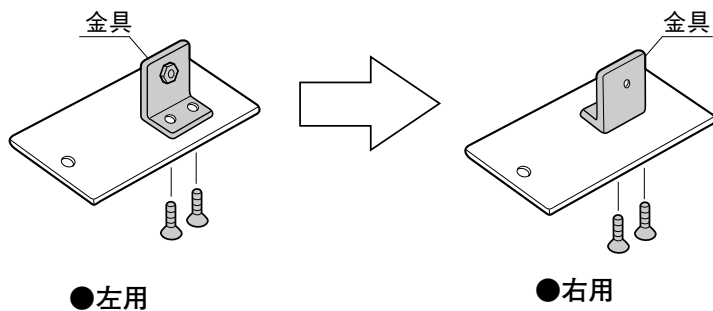
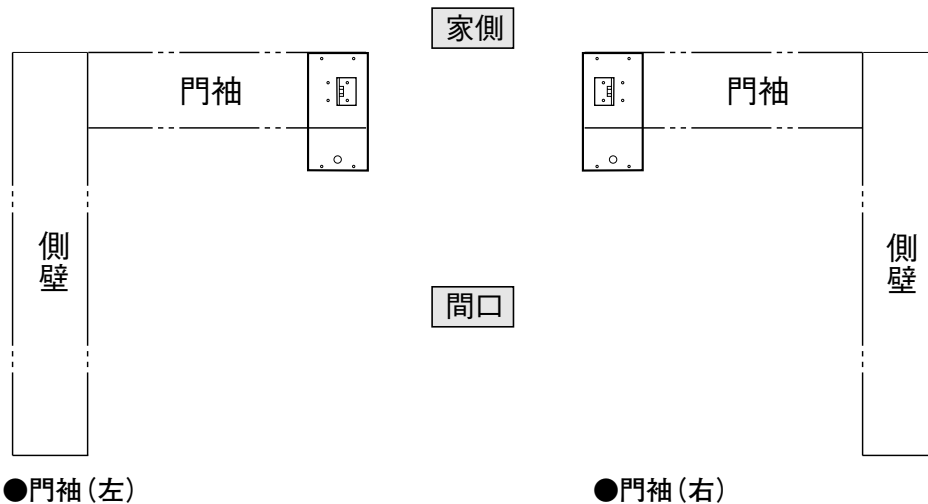


●側壁のみ

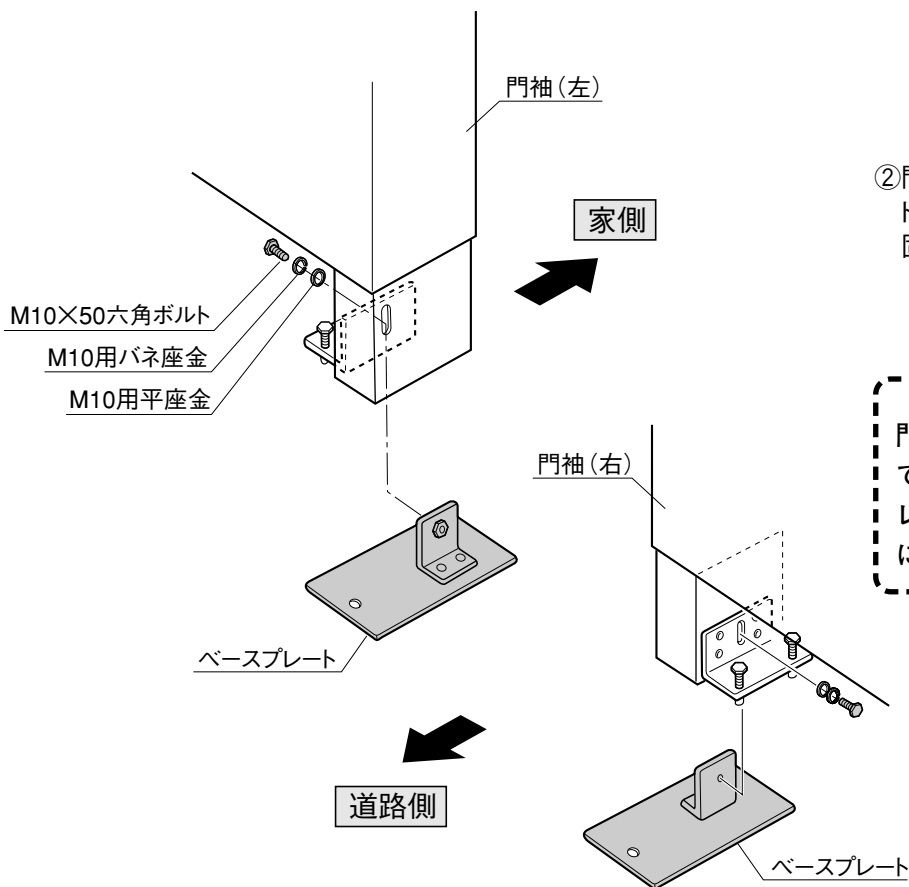


道路側

8. 門袖ベースプレートの取付け



①門袖パネル標準に梱包されています
ベースプレートは左用になっております
ので、右側の門袖として使用する際
には、左図の様に金具の向きを付け替
えてください。



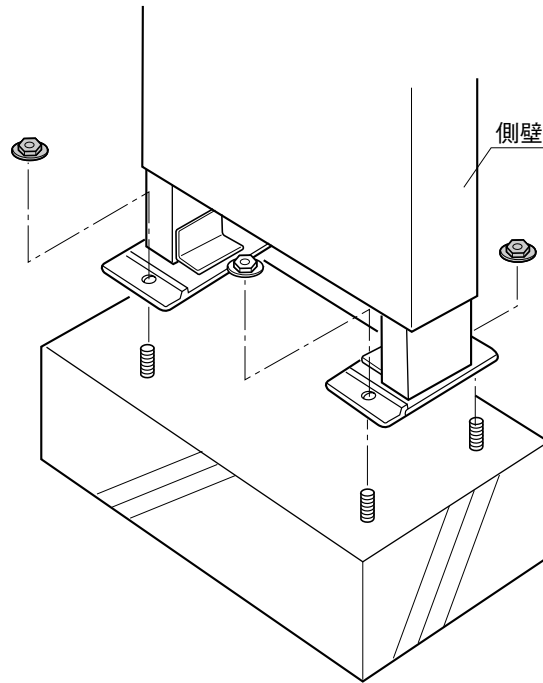
②門袖・間口方向の支柱にベースプレ
ートを差し込み、M10×50六角ボルトで
固定してください。

注意

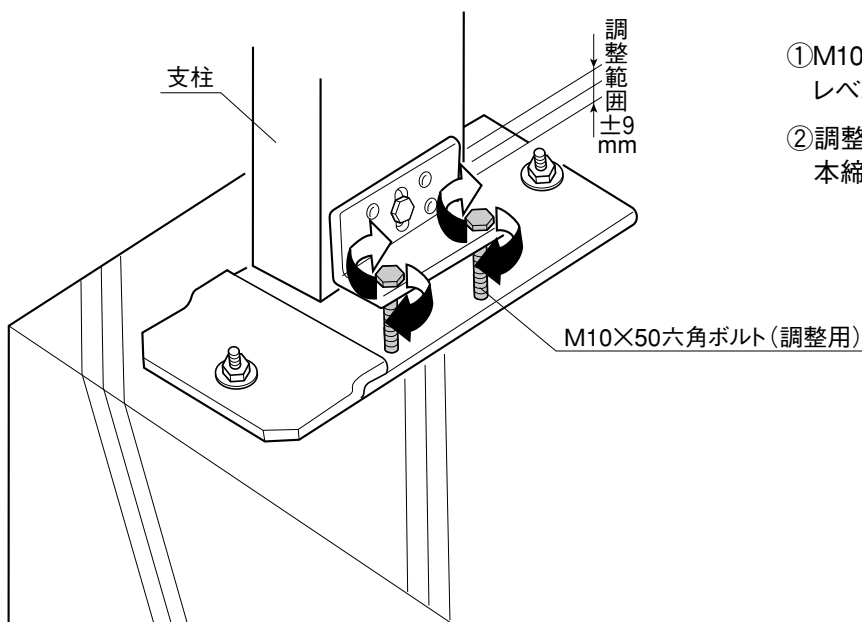
門袖の家側には、門扉用の柱を建
てていただきますのでベースプ
レートが家側に出ない様、向き
に注意してください。

9. 側壁の固定とレベル調整

- ①ベースプレートをホールインアンカーにM10ワッシャー組込ナットで仮固定します。
- ②側壁に門袖を組付けてください。
(10.側壁と門袖の固定を参照ください。)
- ③レベル・側壁と門袖の直角度を調整してください。
- ④調整後、全てのボルト、ナットを本締めしてください。

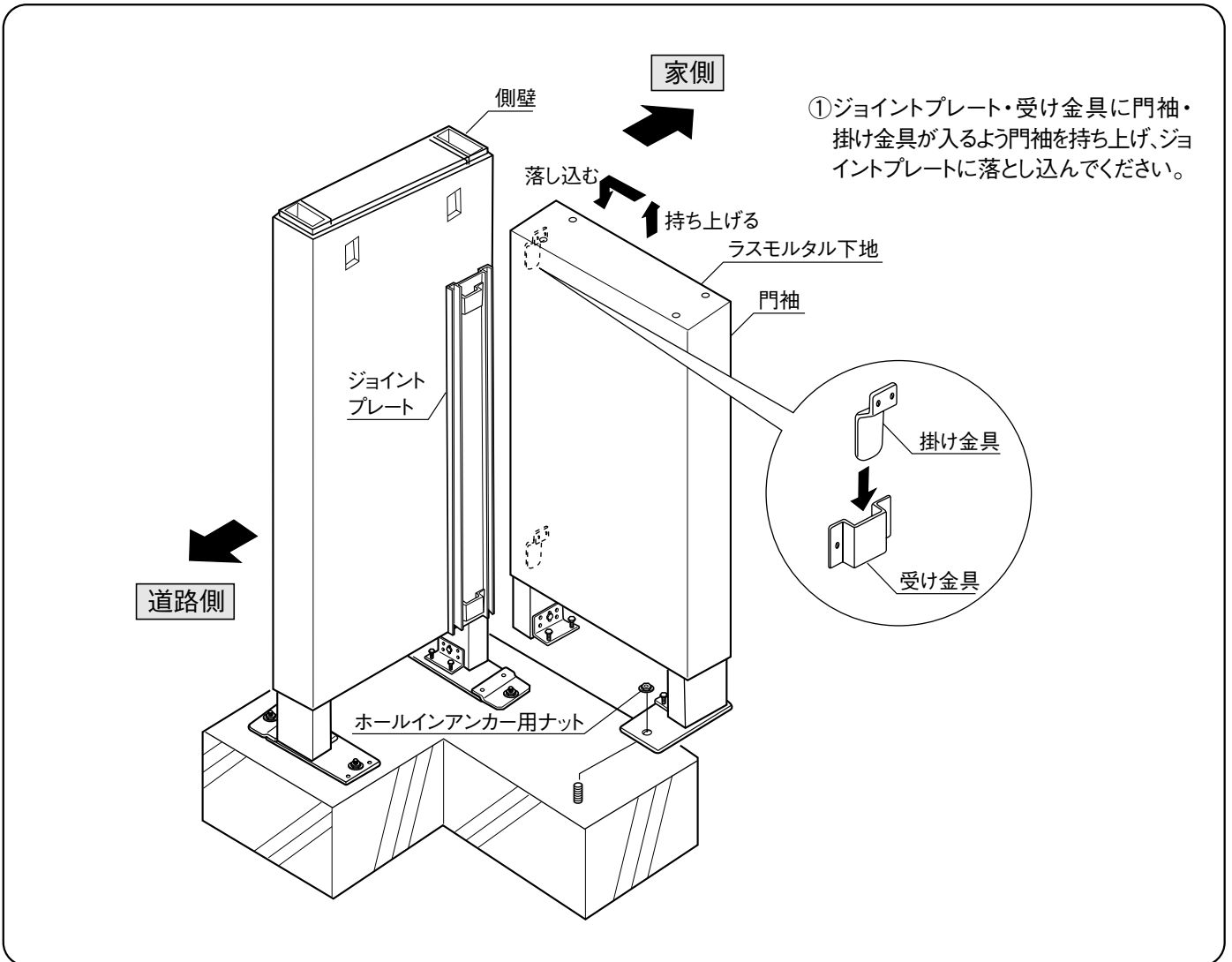


〈レベルの調整方法〉

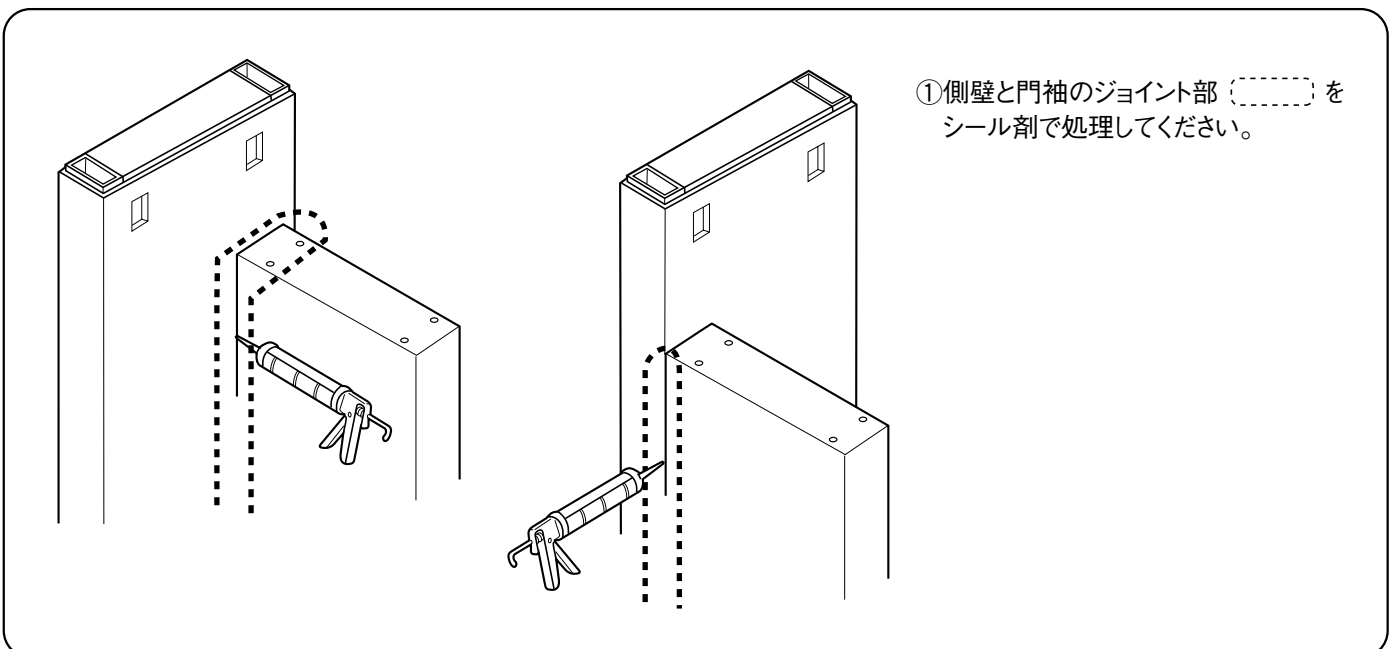


- ①M10×50六角ボルト(調整用)をまわし、レベルの調整を行ってください。
- ②調整後、ホールインアンカー用ナットを本締めしてください。

10. 側壁と門袖の固定



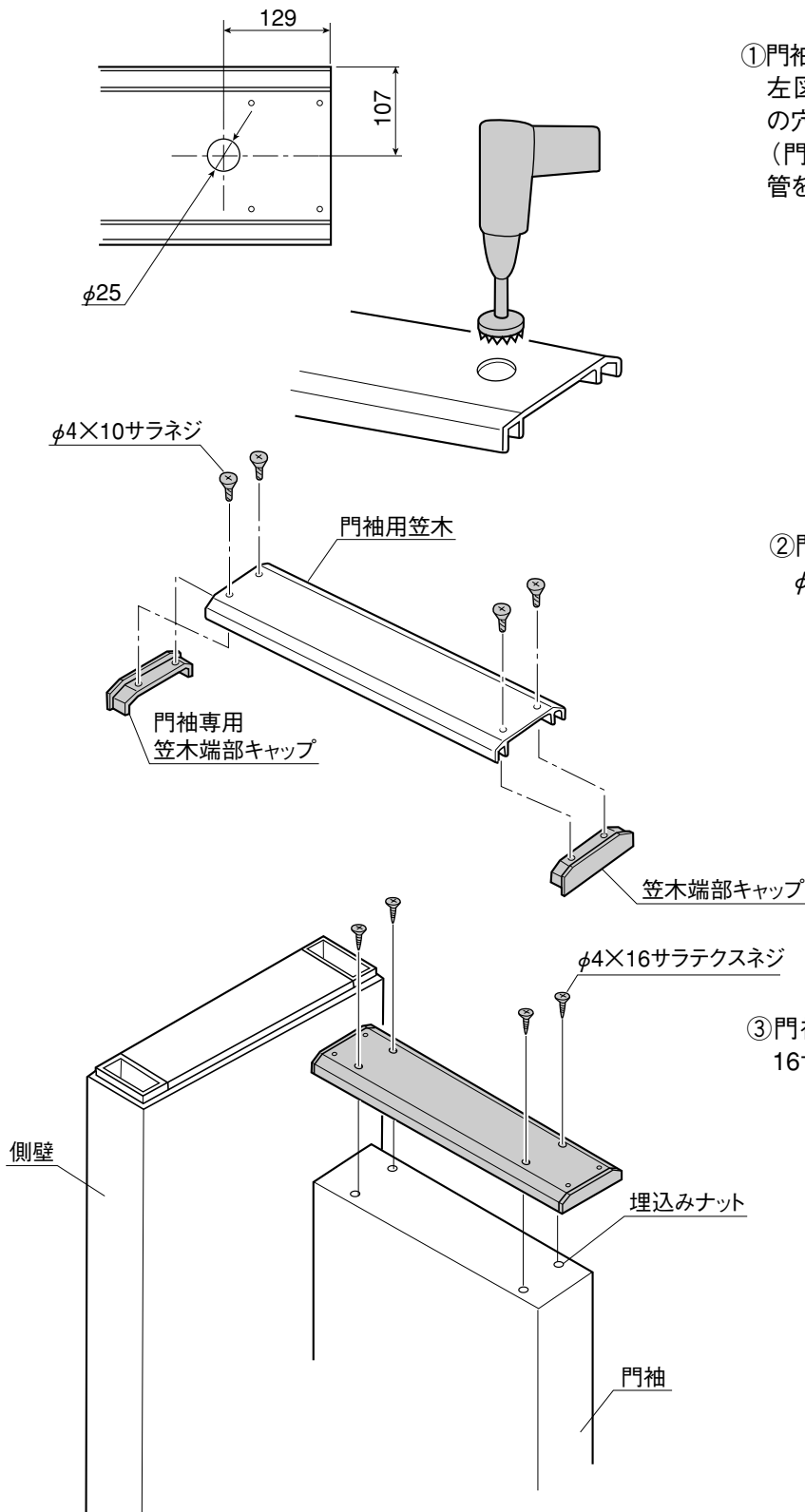
11. シール剤の処理



12. 門袖笠木の取付け

門袖笠木について

門袖天端は、ラスモルタル下地となっていますのでそのままタイル張りができます。(笠木不要)
 塗装仕上げの場合は、下図に従って笠木を取付けてください。

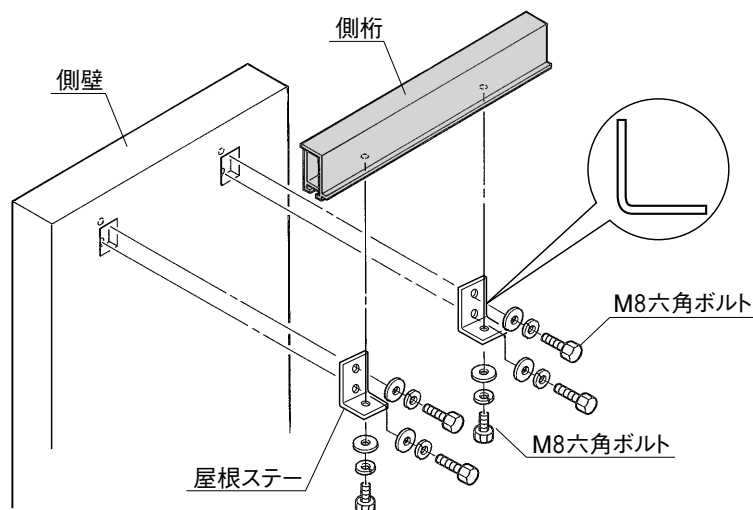


①門袖笠木面に照明を取付ける場合は、左図の様に笠木へホルソーでφ25の穴をあけてください。
 (門袖天面から出ている照明用CD管を通す穴です。)

②門袖用笠木に笠木端部キャップをφ4×10サラネジで組付けてください。

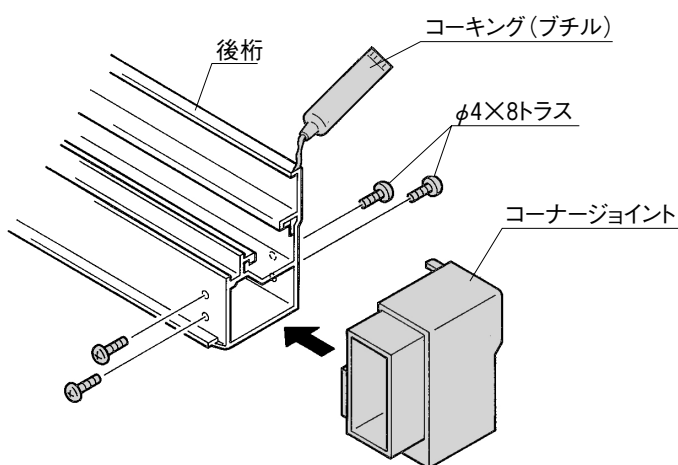
③門袖に門袖用笠木をのせてM4×16サラネジで取付けてください。

13. 側桁の取付け



- ① 側壁に、屋根ステーをM8六角ボルトで取付けます。
- ② 側桁を屋根ステーに、M8六角ボルトで取付けてください。

14. 後桁へのコーナージョイントの取付け

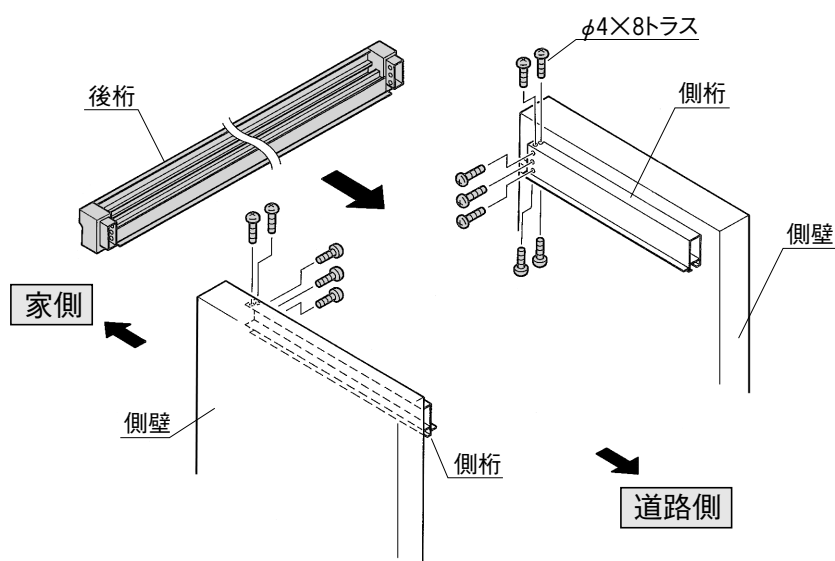


注意

コーナージョイントは左右がありますので注意してください。

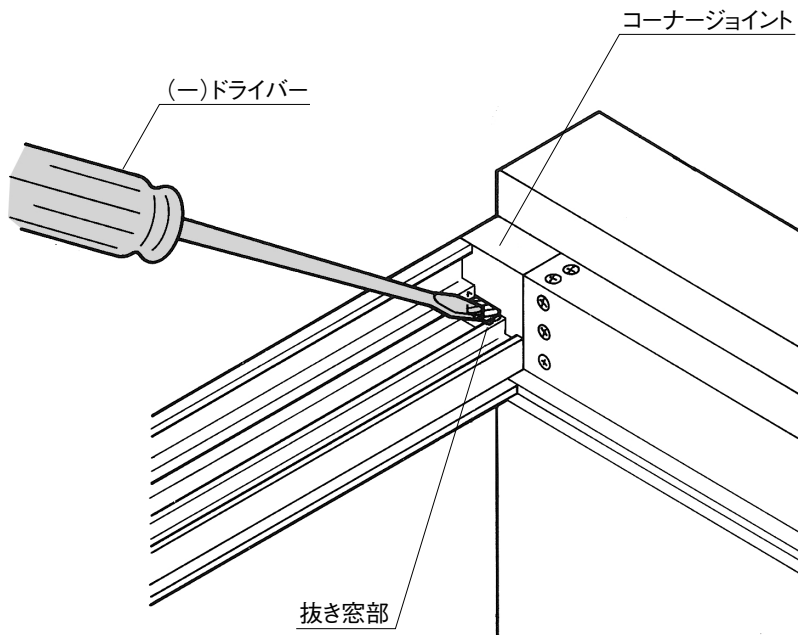
- ① 後桁にコーナージョイントを差し込んでください。
- ② 左右のコーナージョイントをφ4×8トラス(各4本)で固定します。
- ③ 雨樋部にコーキング(付属品)を施してください。

15. 後桁の取付け



- ① すでに側壁に取付けられている側桁に後桁を、差し込みます。
- ② 左右の側桁と後桁をφ4×8トラス(各7本)で固定します。

16. コーナージョイントの雨樋通路加工

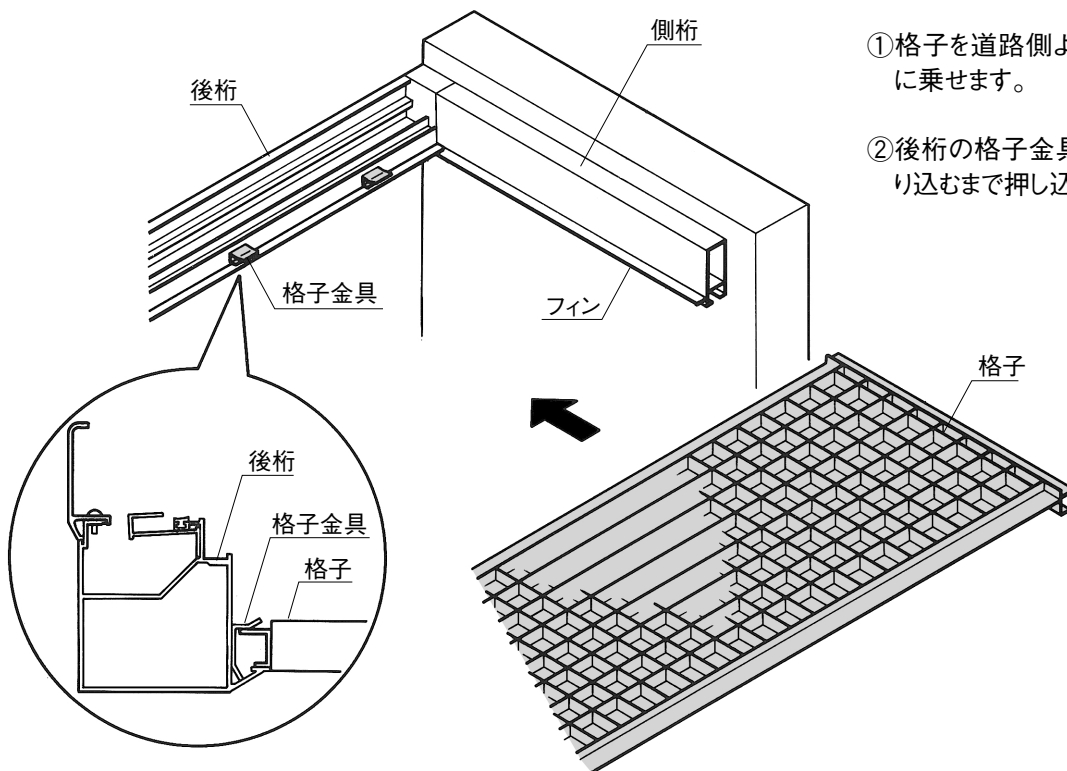


注意

- コーナージョイントに穴はあいていません。必ず通路加工をしてください。
- コーナージョイントの窓抜きは、雨樋の通る左右どちらか一方です。

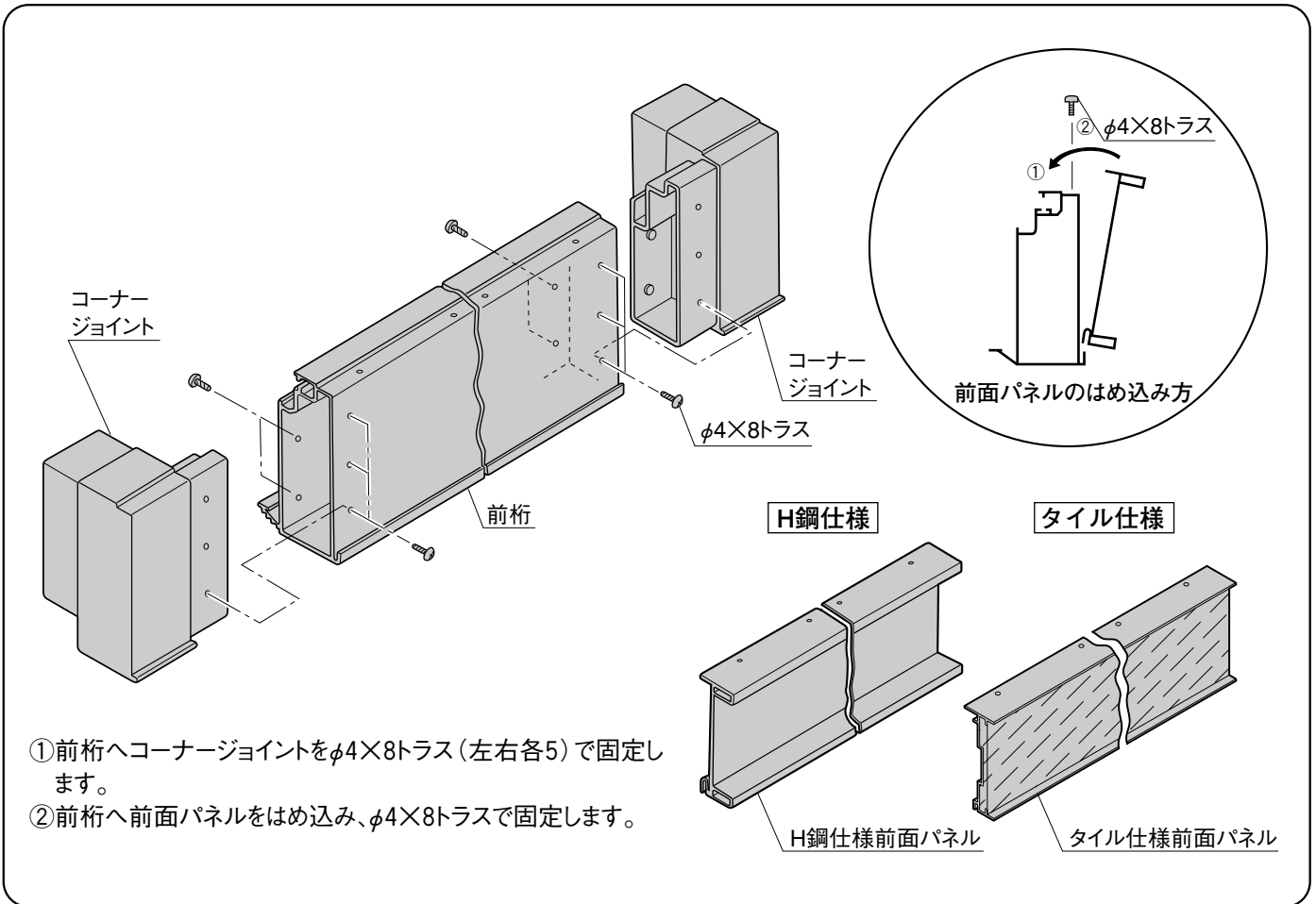
- ① 現場に合わせて雨樋を通すコーナージョイントを、左右どちらか一方に決めてください。
- ② 雨樋側のコーナージョイントの抜き窓部をドライバー等で、あけてください。あらかじめ切り込みが入っていますので、それに添って抜いてください。

17. 格子の取付け

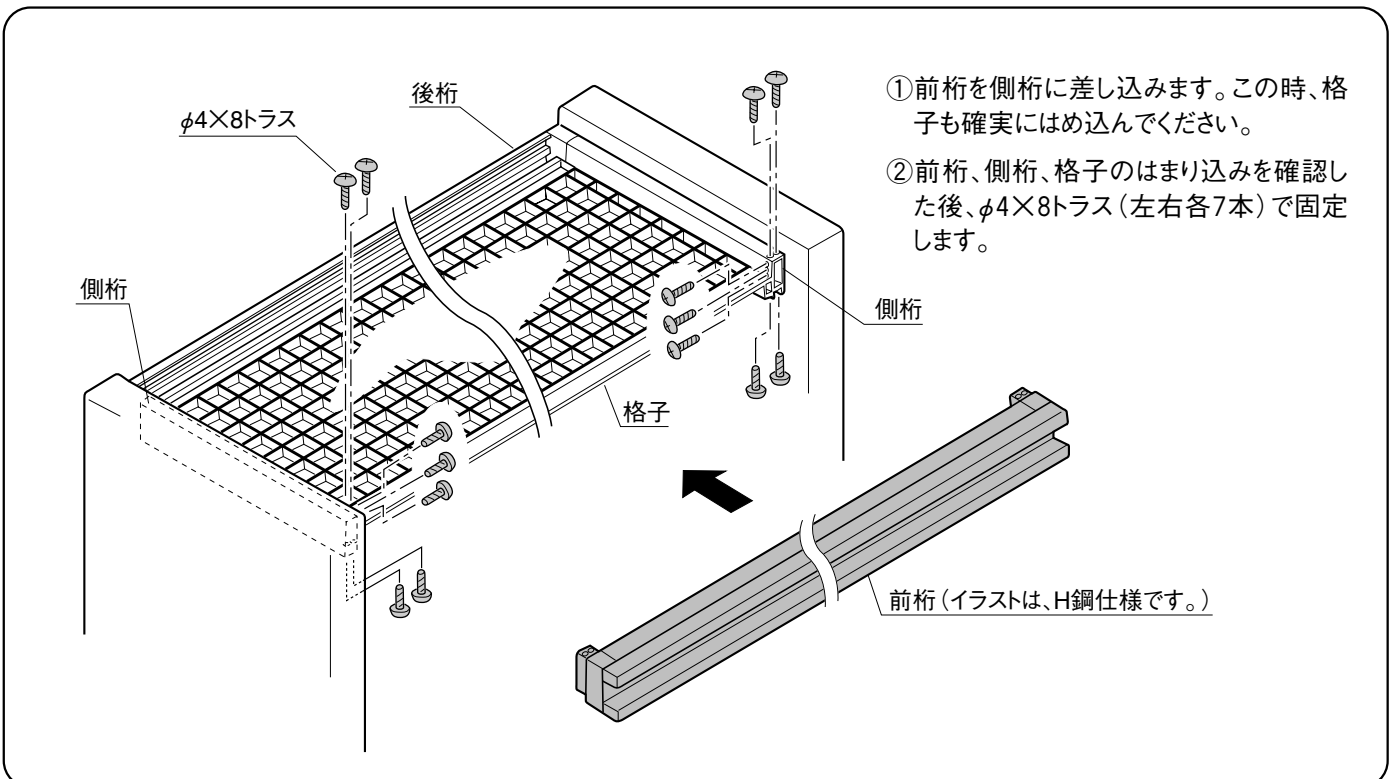


- ① 格子を道路側より、側桁のフィンの上に乗せます。
- ② 後桁の格子金具に格子が完全にはまり込むまで押し込んでください。

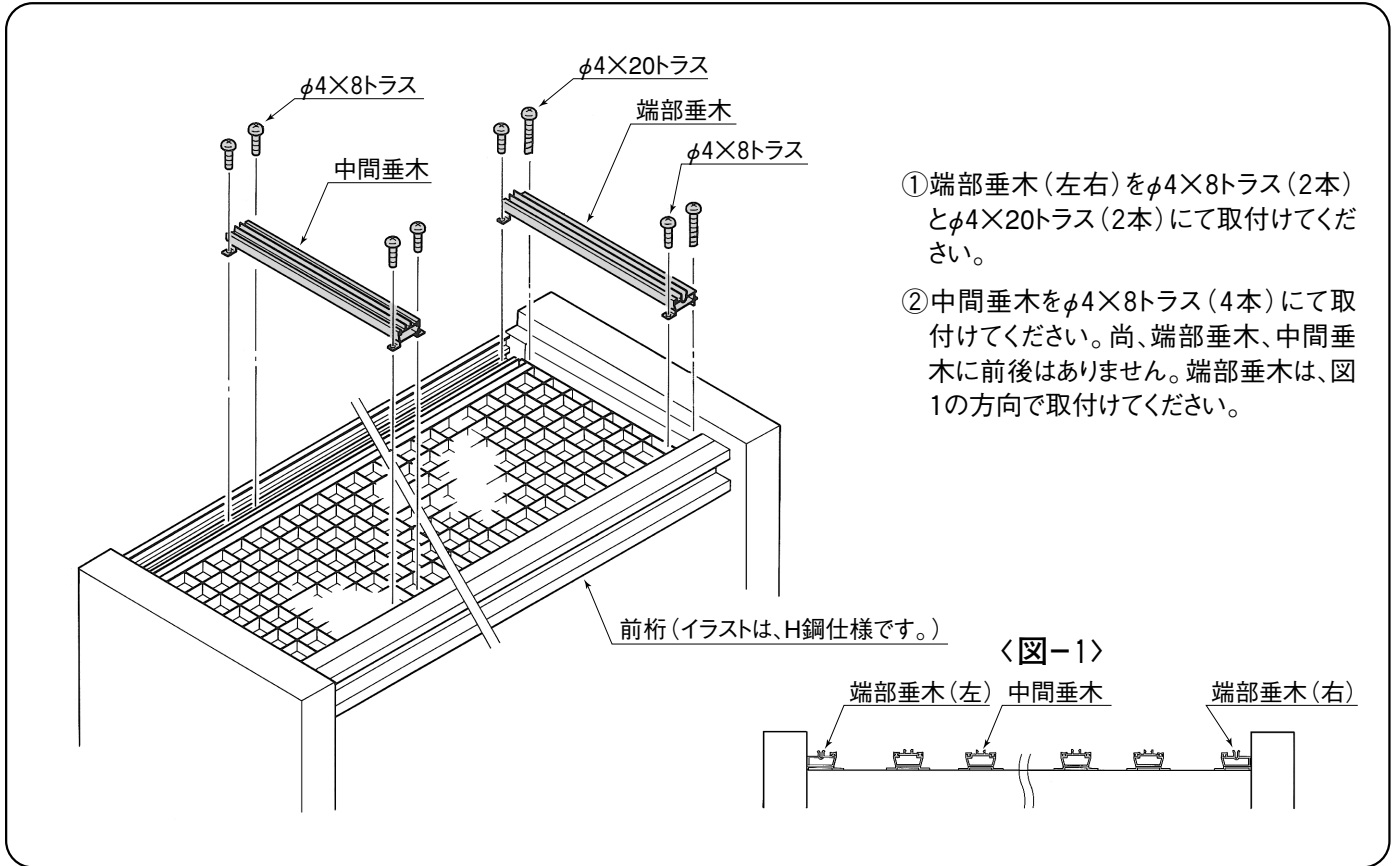
18. 前桁への前面パネルおよびコーナージョイントの取付け



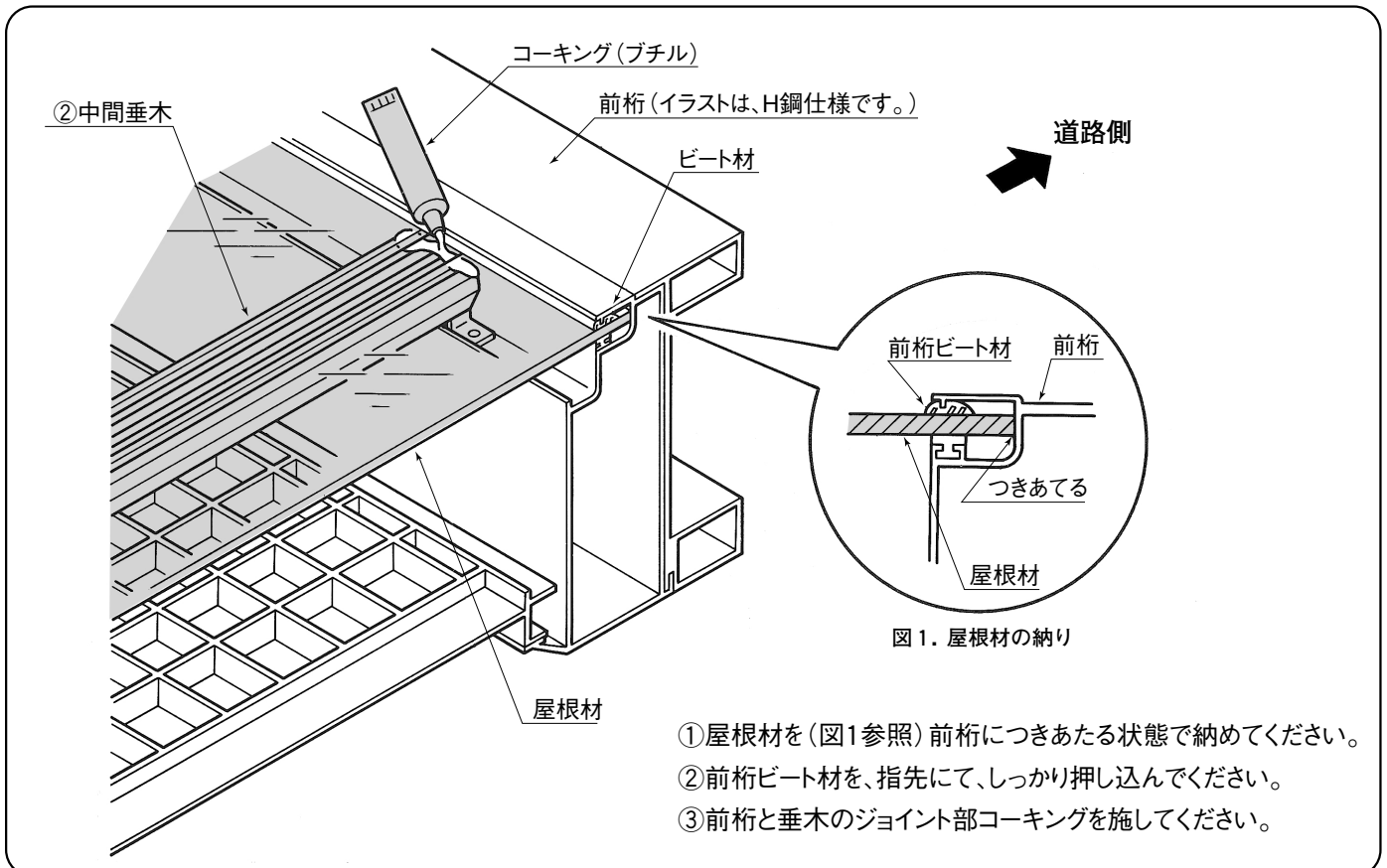
19. 前桁の取付け



20. 垂木の取付け



21. 屋根材の取付け



21. つづき

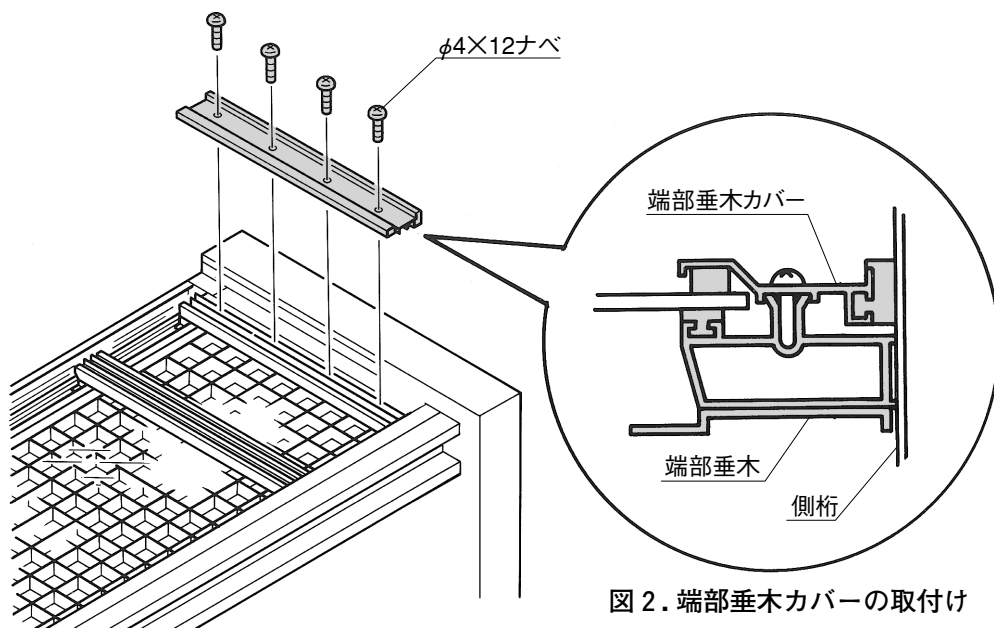


図2. 端部垂木カバーの取付け

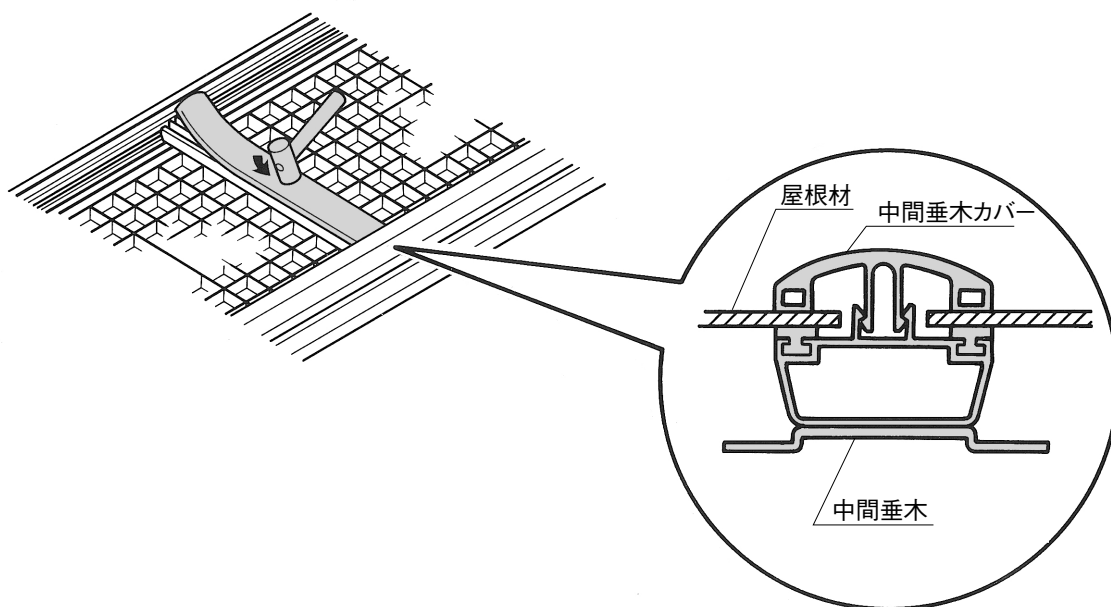


図3. 中間垂木カバーの取付け

- ④ 端部垂木カバーを(図2参照)φ4×12ナベ4本で止め付けてください。
- ⑤ 中間垂木カバーは、前桁につきあてた位置より木づちでたたきながら中間垂木にはめ込んでください。(図3参照)

注意

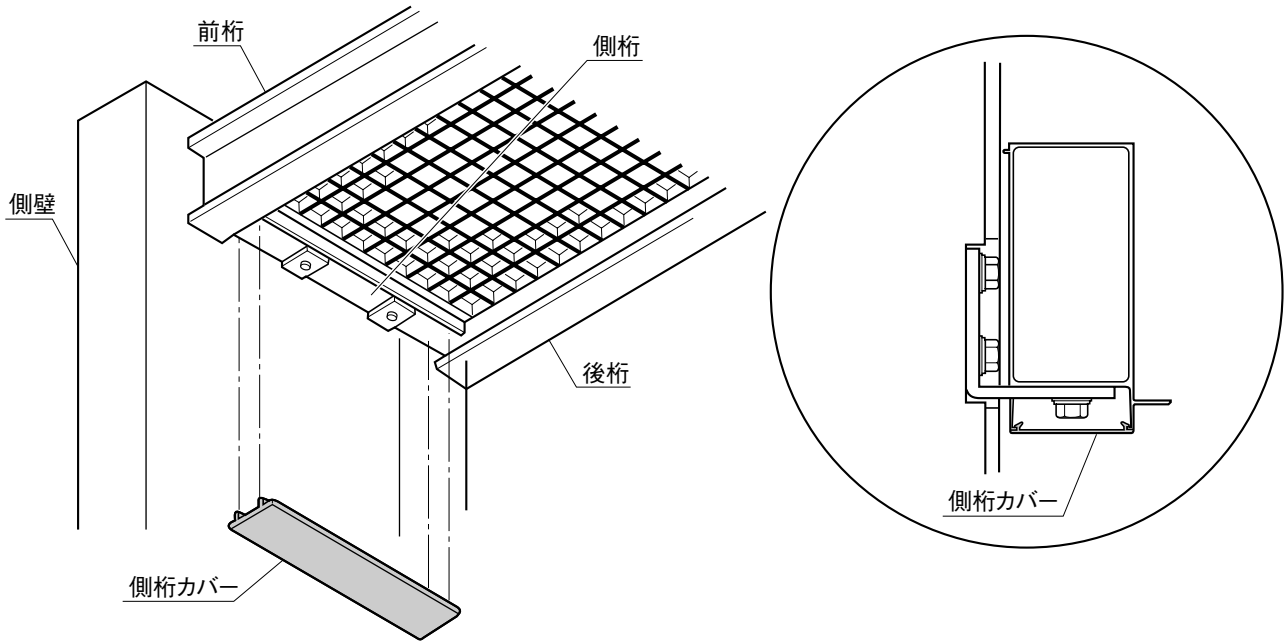
中間垂木カバーのツメと中間垂木の溝を一致させてから木づちで少しずつはめ込んでください。また、取付完了後に全長にわたり、固定されているか確認してください。

22. 屋根側桁カバーの取付け

①側桁カバーはスナップインになっています。屋根側桁下部に側桁カバーをゴムハンマー等で軽くたたいて、はめ込んでください。

注意

側桁カバーは、一度はめ込みますと、取りはずして再使用出来ませんので注意してください。

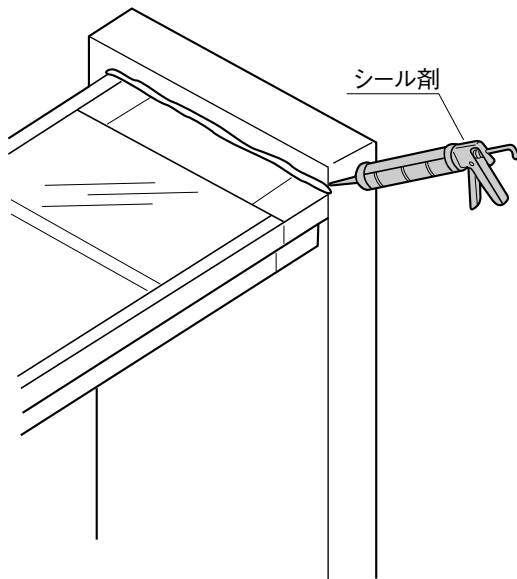


23. 側桁と側壁のシール剤処理

①屋根の側桁と側壁の接合部にシール剤を塗布してください。

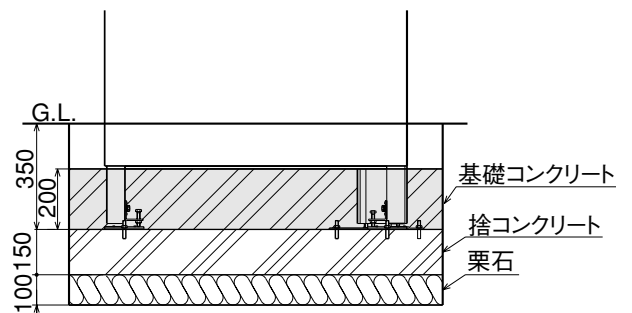
注意

シール剤は、左右両方行ってください。



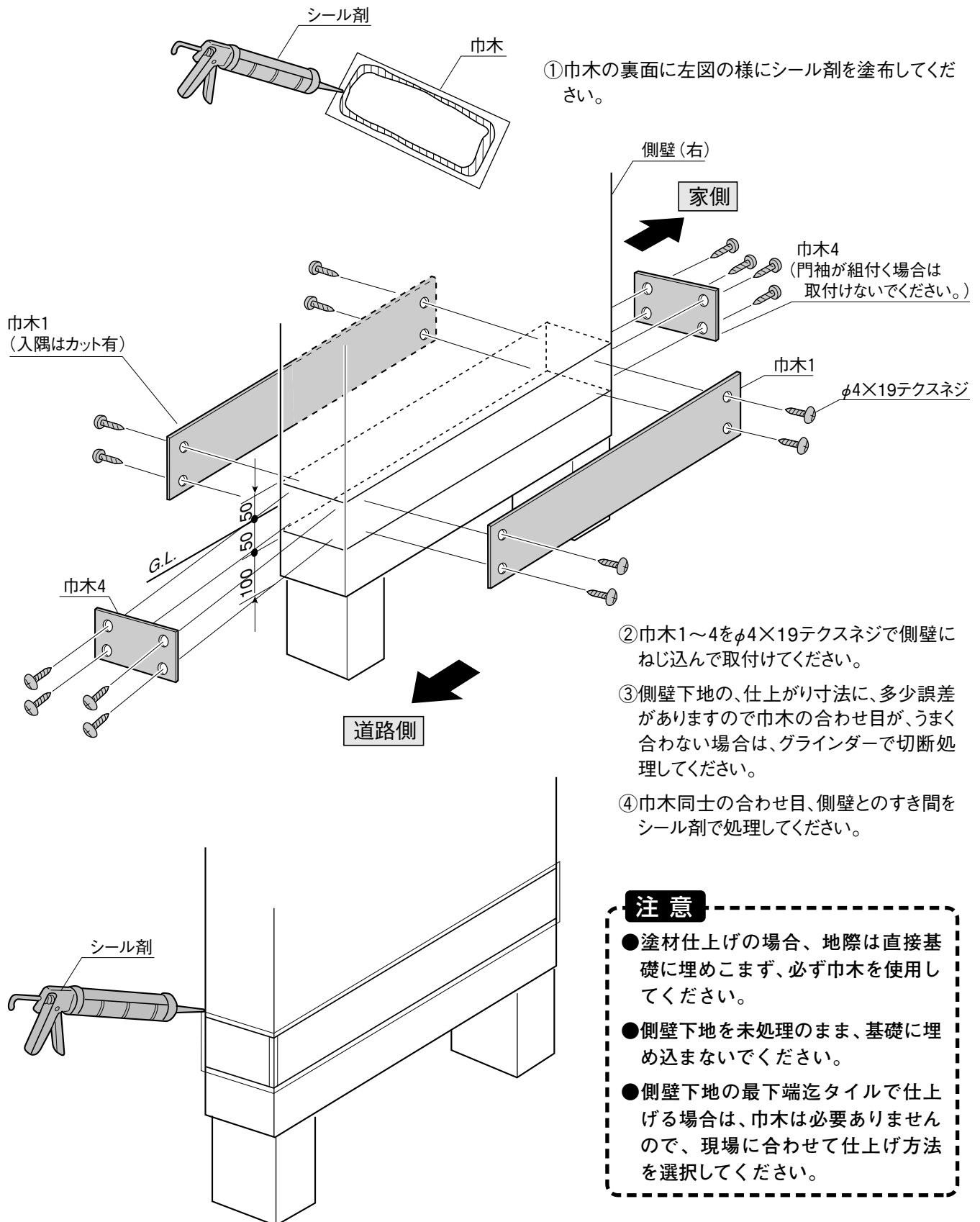
24. 基礎コンクリート打ち

①基礎コンクリートを打設します。後で巾木、タイル等を取付けますので側壁・門袖下棧の下づらまでとしてください。特に支柱、ベースプレートの廻りには、充分行き渡るように打設してください。



25. 巾木の取付け

※塗材等での表面仕上げの場合は巾木を使用してください。



①巾木の裏面に左図の様にシーラ剤を塗布してください。

側壁(右)
家側
巾木4
(門袖が組付く場合は
取付けないでください。)

巾木1
(入隅はカット有)

巾木1
φ4×19テクスネジ

巾木4

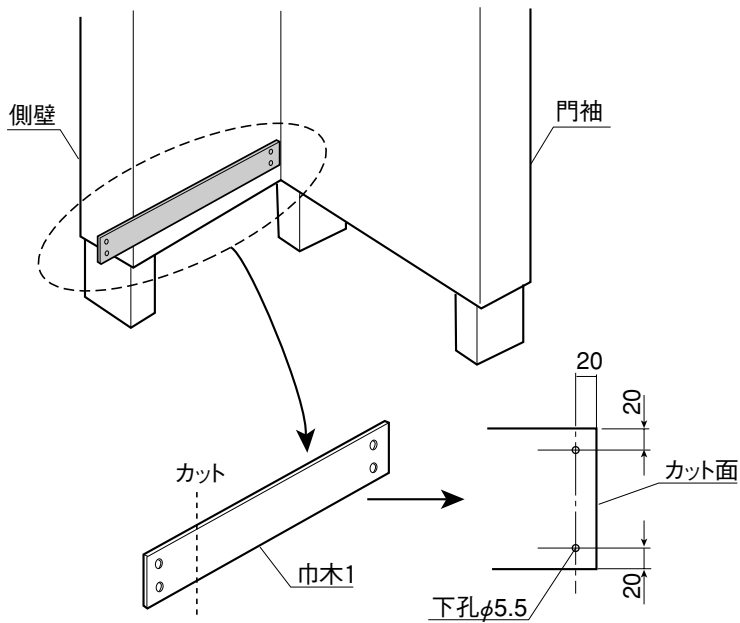
②巾木1～4をφ4×19テクスネジで側壁に
ねじ込んで取付けてください。

③側壁下地の、仕上がり寸法に、多少誤差
がありますので巾木の合わせ目が、うまく
合わない場合は、グラインダーで切断処
理してください。

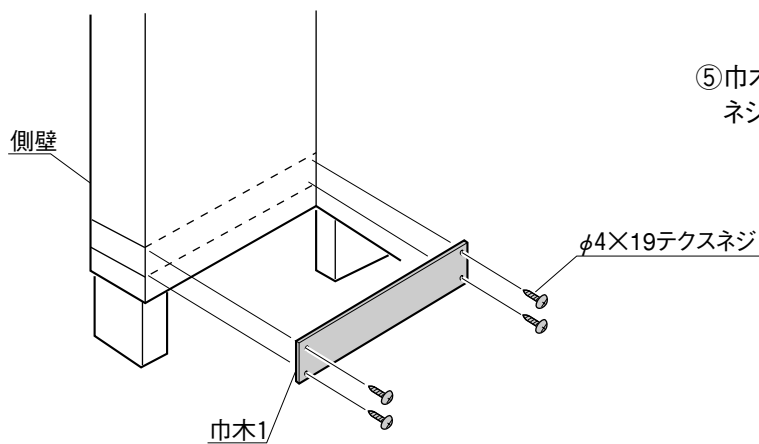
④巾木同士の合わせ目、側壁とのすき間を
シーラ剤で処理してください。

注意

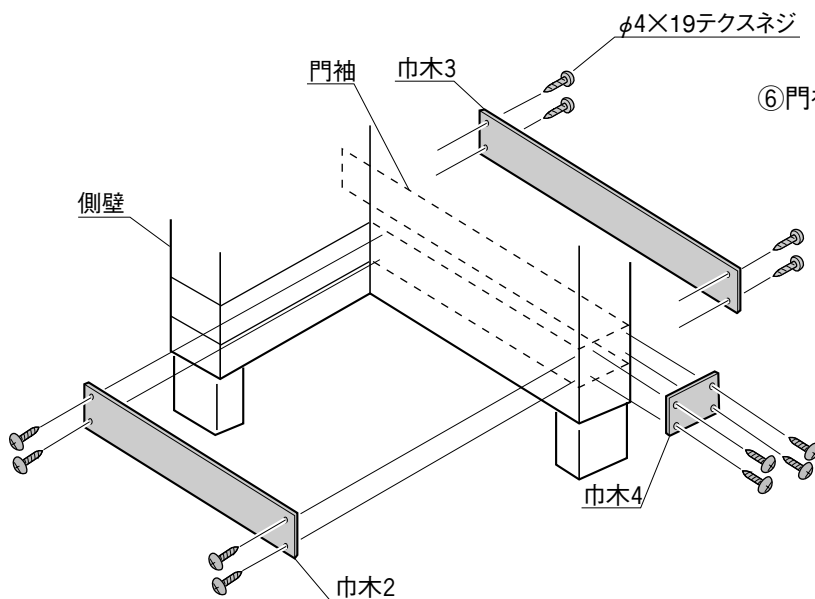
- 塗材仕上げの場合、地際は直接基礎に埋めこまず、必ず巾木を使用してください。
- 側壁下地を未処理のまま、基礎に埋め込まないでください。
- 側壁下地の最下端迄タイルで仕上げる場合は、巾木は必要ありませんので、現場に合わせて仕上げ方法を選択してください。



④側壁と門袖入隅部の巾木は側壁に合わせてカットし、下孔(φ5.5)をあけてください。

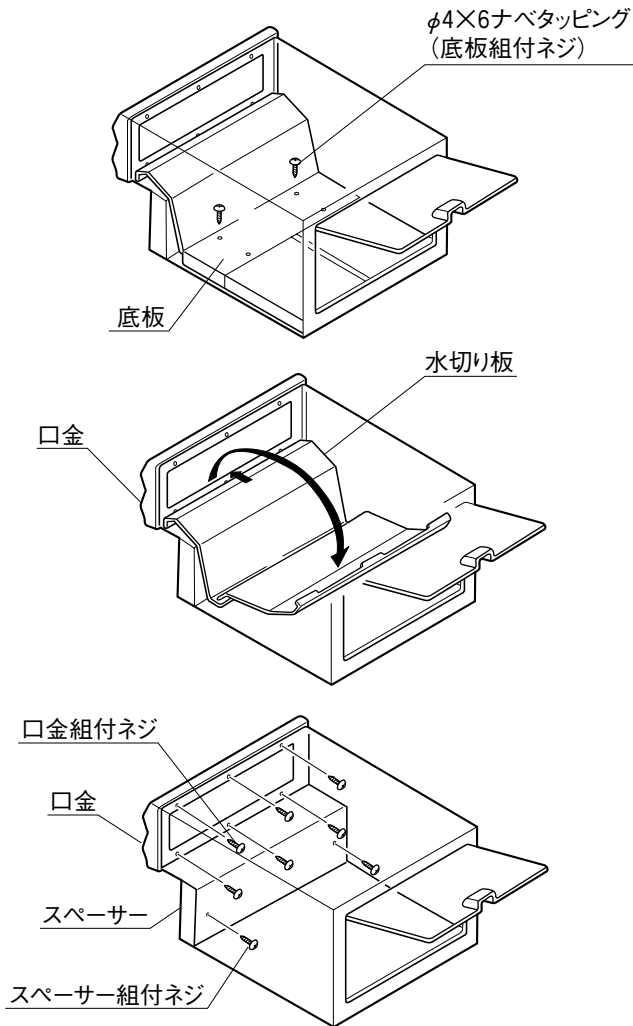


⑤巾木にシール剤を塗布してφ4×19テクスネジで固定してください。



⑥門袖も同じ様に巾木を取付けてください。

26. TOEXポストの取付け



①底板組付ネジ(φ4×6ナベタッピング)をはずしてください。

②水切り板を口金方向へスライドさせながら反転させてはずしてください。

③口金組付ネジ(6ヶ所)とスペーサー組付ネジ(2ヶ所)をはずして口金、スペーサーをはずしてください。

注意

口金をとめてあるネジはポスト取付時使用しますのでなくさないでください。

④ポストの口金を取付けてください。この時、口金のスプリングをポスト本体の折返し部分に差し込んでから取付けてください。

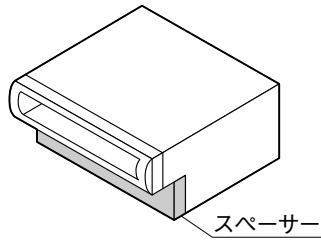
⑤水切り板を取付けてください。

⑥底板を組付ネジで取付けてください。

⑦ポスト取付終了後、左図のようにシーリング処理を施してください。

27. エクスポストの取付け

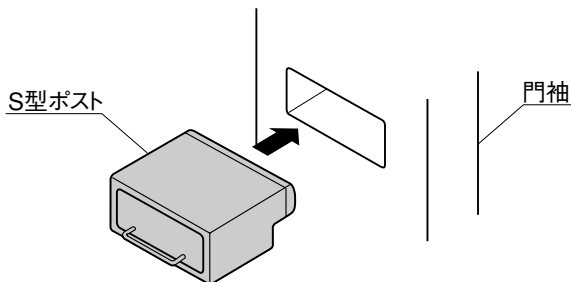
[1] スペーサーの取りはずし



スペーサー

[2] 門袖への取付け

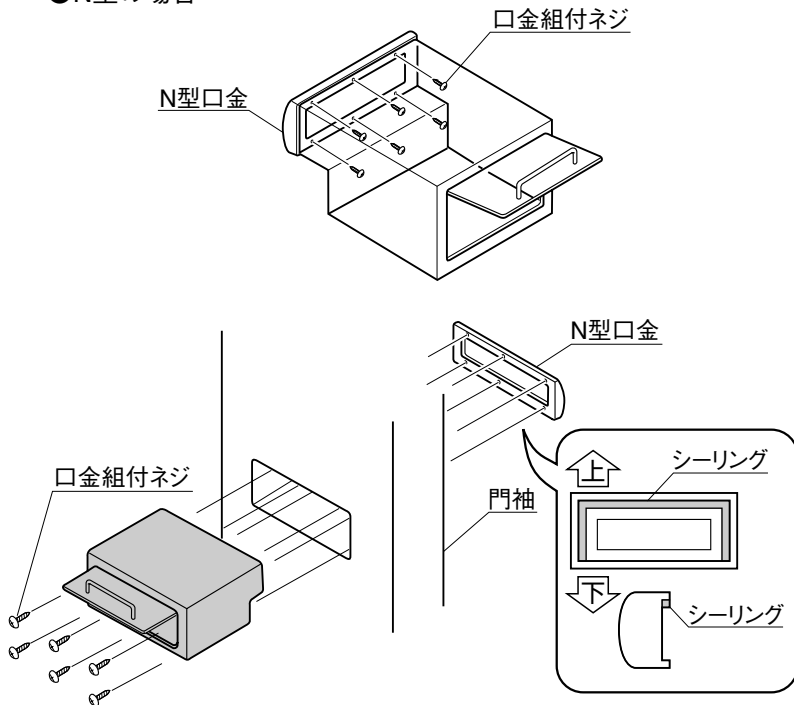
●S型の場合



S型ポスト

門袖

●N型の場合



口金組付ネジ

N型口金

N型口金

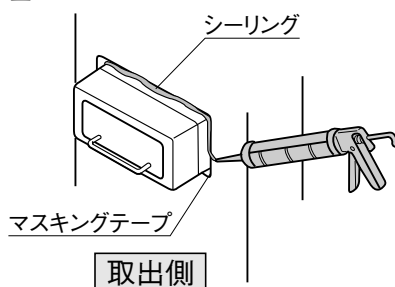
口金組付ネジ

門袖

シーリング

シーリング

[3] シーリング処理



取出側

- 「エクスポスト口金タイプ取付説明書」に従って、スペーサーをはずしてください。

注意

- S型は中仕切り板を組戻してください。
- N型は門袖に取付けてから組戻してください。

- 口金が組付いた状態のまま取付けてください。

注意

- 門袖へ取付ける際は、口金をキズつけないように注意してください。

- ①6ヶ所の「口金組付ネジ」をはずして、口金を本体からはずしてください。

注意

- 口金とポスト本体はシーリングしているため、はずれにくい場合があります。
- 口金を止めているネジはポスト取付時に使用しますので無くさないでください。

- ②口金にシーリングを施した後、門袖に口金とポスト本体とを挟込むように取付け、「口金組付ネジ」6本で組付けてください。

注意

- 口金へのシーリングを施さないとポスト内部に水が入込むことがあります。

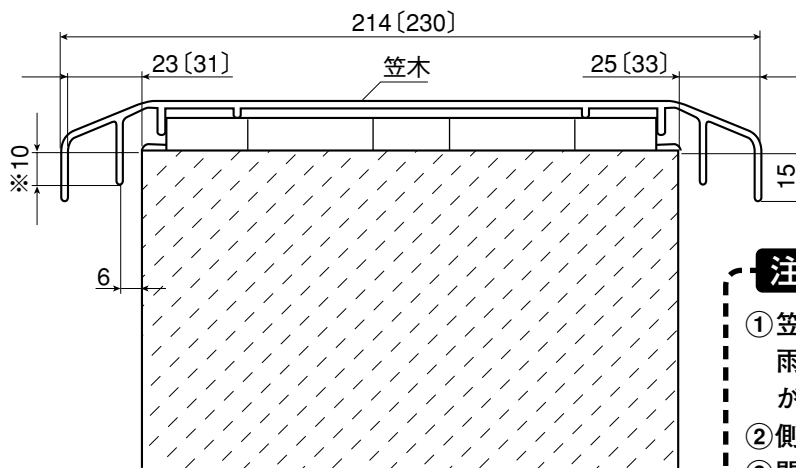
- ③「エクスポスト口金タイプ取付説明書」に従って、中仕切り板をポスト内部に戻してください。

- ポスト取付終了後、左図のようにシーリング処理を施してください。

28. 表面材の仕上げ

- 表面材の仕上げを行なう前に、別紙「ラスコート商品の仕上げ施工の注意とお願い」を必ずお読みください。

■笠木部品の納り



- タイル、塗材等で表面の仕上げを行う場合、笠木のかぶる上から※10mmの部分は、厚さが5mm以上にならない様にしてください。

- タイル張りを行う場合、タイル厚20mm以下のものを使用して仕上げてください。

注意

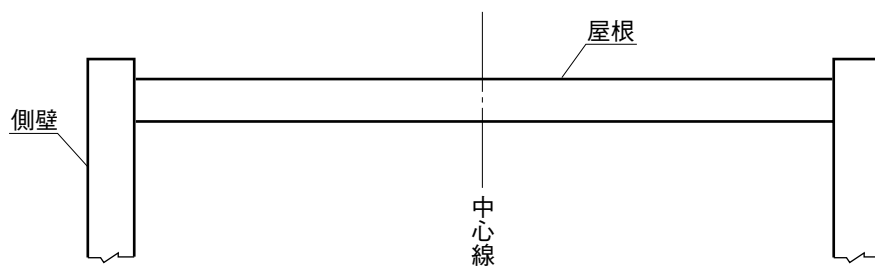
- ① 笠木の出幅より厚いタイルを使用されますと、雨水によるヨゴレや白華の原因となる可能性があります。
- ② 側壁は笠木を使用してください。
- ③ 門袖は、笠木を使用しないでタイル張りか、笠木を使用しての塗装仕上げができます。

※ [] 内寸法は、W230のタイル用笠木です。

29. 屋根のタイル張り

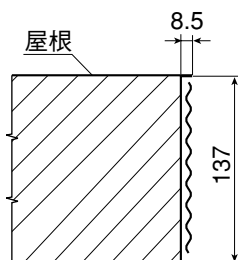
[1] タイル割付

- 屋根のセンターから割り付けてください。

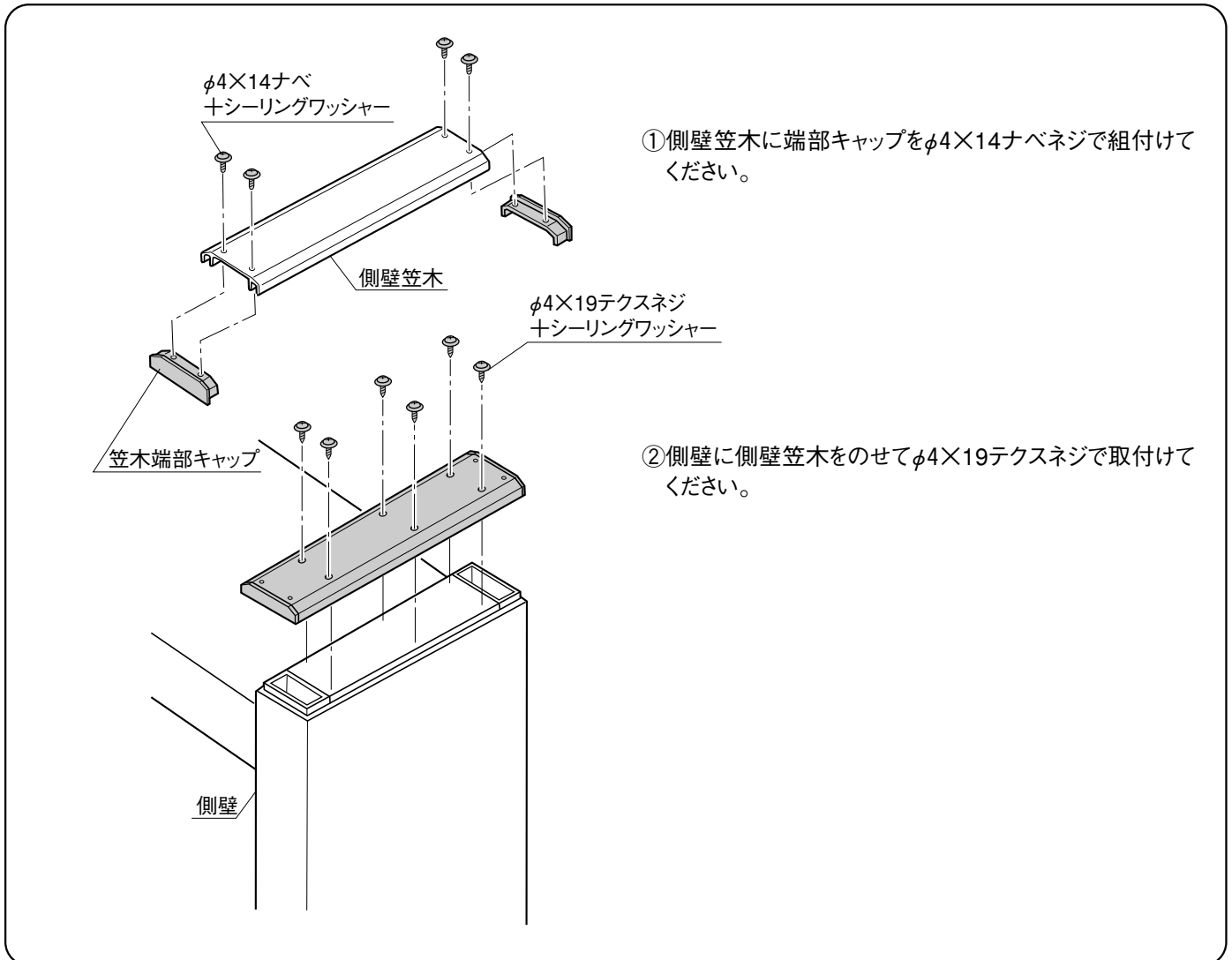


[2] タイル張付け部の納まり

- ~~~~線の面にタイルを張ってください。

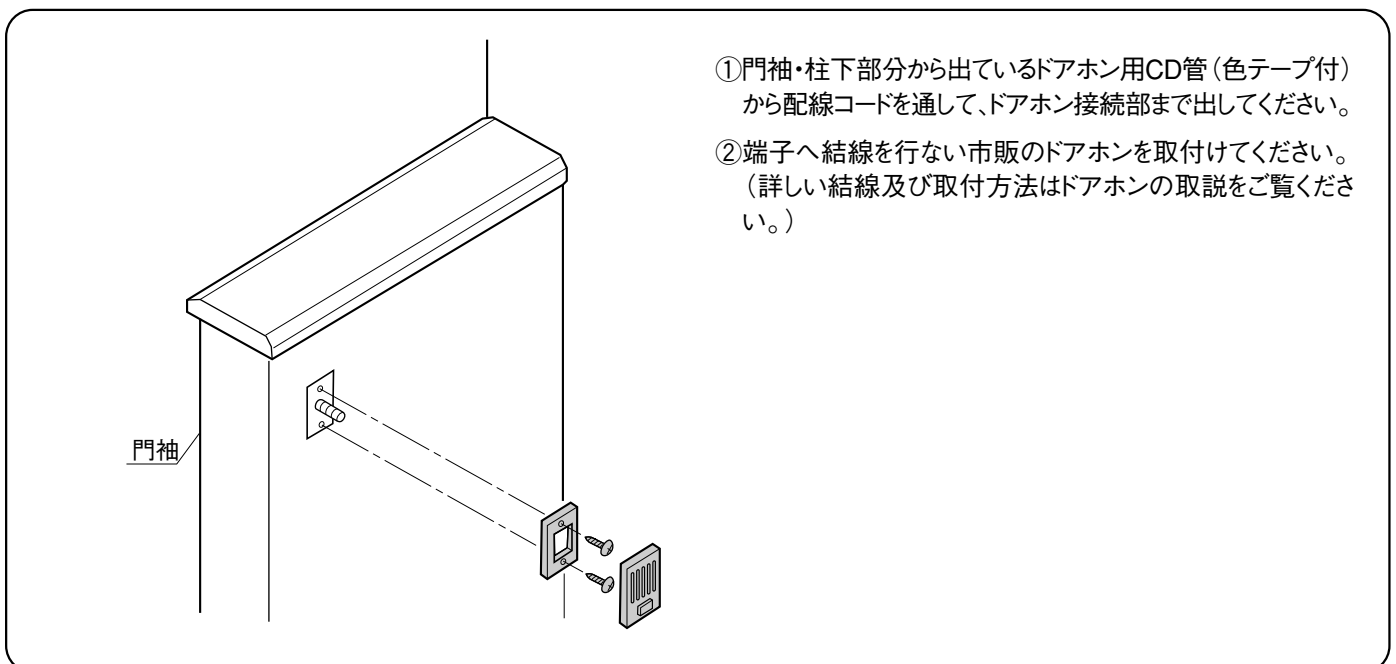


30. 側壁笠木の取付け



31. ドアホンの取付け

※電気工事は、必ず有資格の電気工事店にご依頼ください。



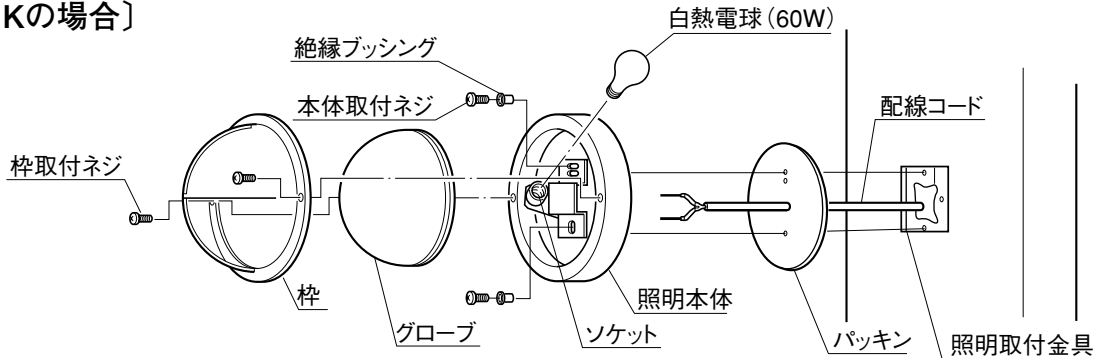
32. 照明の取付け

※電気工事は、必ず有資格の電気工事店にご依頼ください。

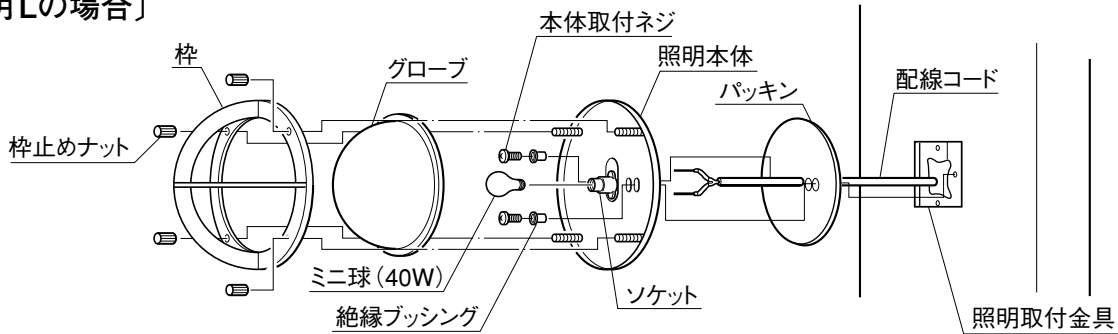
1. 照明の取付け〈門袖H19の前面取付用〉

- 各機種の門灯セットの梱包の中に取説が入っていますので取付け前にならず読んでください。
(パッキン、取付ネジ等は、照明セットに梱包されています。)

〔照明Kの場合〕

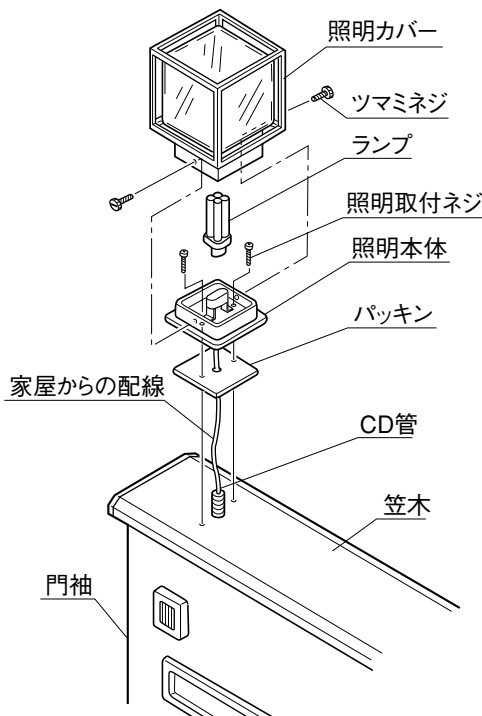


〔照明Lの場合〕



2. 照明の取付け〈門袖H14、17の上部取付用〉

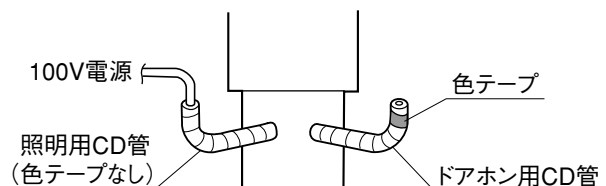
〔照明HK-9型の場合〕



- 照明本体取付用ネジの下孔は現場にて門袖の笠木に開けてください。

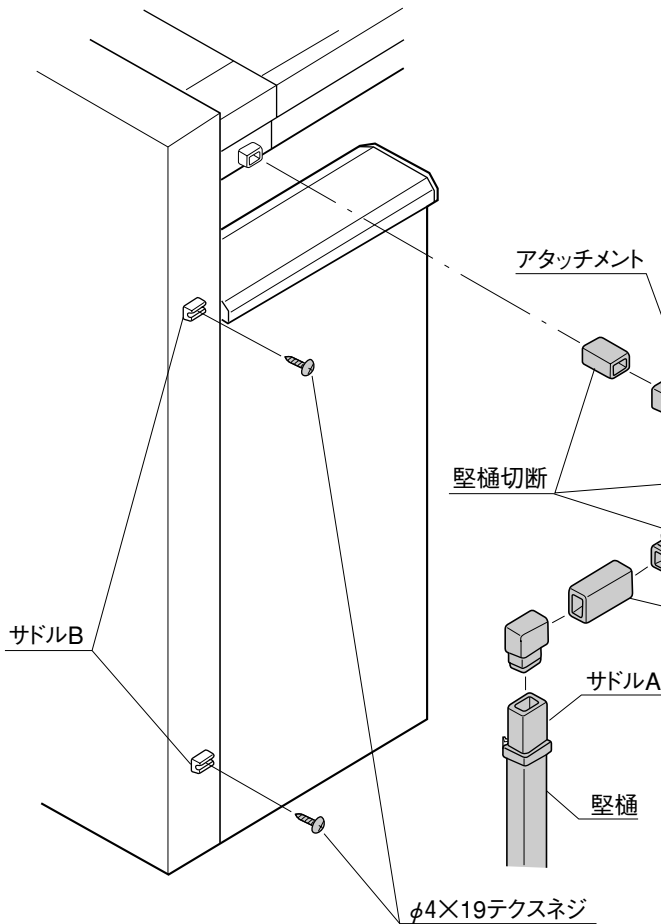
- 門灯セットの梱包の中に取説が入っています。取付け前にならず読んでください。
(パッキン、取付ネジ等は、門灯セットに入っています。)

- 配線コードは柱下部分から出ているCD管に通してください。



- AC100V配線コードを端子台に結線してください。
(詳しい結線および取付方法は門灯の取説をご覧ください。)

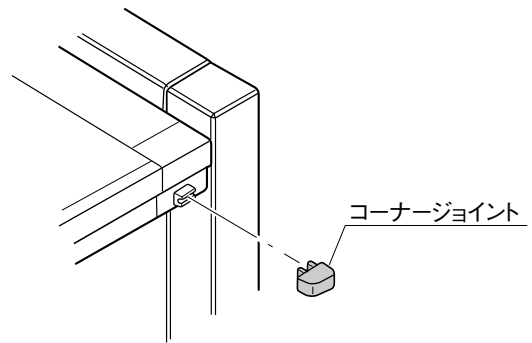
33. 雨樋の取付け



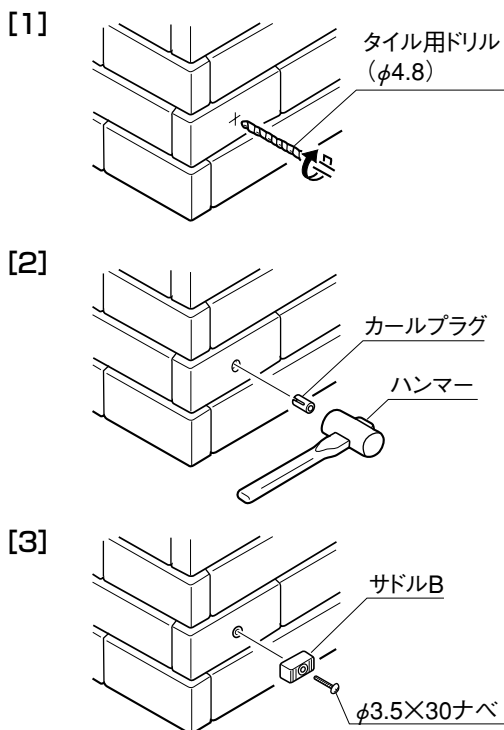
- ①アタッチメントを、雨樋を通す側のコーナージョイントに取付けてください。
- ②サドルBを、φ4×19テクスネジで取付けてください。
- ③アタッチメントから、堅樋までをエルボと堅樋を切断したもので組付けしてください。
- ④堅樋にサドルAを通し、サドルAを、サドルBに差し込んで堅樋を固定してください。
- ⑤雨樋を通さない側のコーナージョイントにコーナージョイントキャップを取付けてください。

注意

各接合部は、接着剤で接着してください。



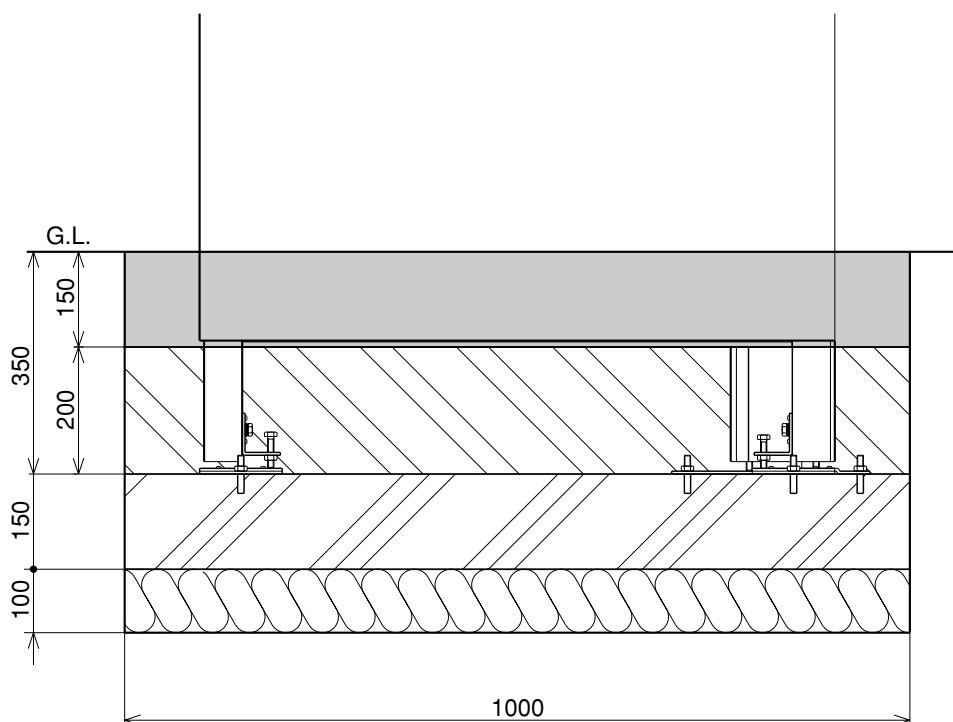
〈タイルの場合〉



- ①アタッチメントを、雨樋を通す側のコーナージョイントキャップに取付けます。
- ②サドルB取付用の穴を2ヶ所、タイル用ドリル (φ4.8) であけてください。
- ③②であけた穴にカールプラグをハンマーでたたきこんでください。
注) 強くたたきますと、タイルが割れますので注意してください。
- ④カールプラグに、サドルBをφ3.5×30ナベで固定してください。
- ⑤堅樋は、現場に合わせて切断してください。また、各接合部は、接着剤で接着してください。

34. 土間コンクリート打ち

- G.L.まで、土間コンクリートの打設をお願いします。



工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

B037

RWR602433

98-03A

200404D_1006